

## 基本計画書

基本計画																																													
事項	記入欄							備考																																					
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更																																												
フリガナ設置者	ガッコウホウジン イワテイカダイガク 学校法人 岩手医科大学																																												
フリガナ大学の名称	イワテイカダイガク 岩手医科大学 (Iwate Medical University)																																												
大学本部の位置	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																																												
大学の目的	<p>本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。</p>																																												
新設学部等の目的	<p>令和4年度を期限とする35名の入学定員数について、令和5年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和5年度に再度の定員増を行わなかった場合の95名から令和5年度に再度の定員増を行った場合の入学定員130名に変更する。 これに併せて、令和5年度の再度の定員増を行った場合の収容定員数についても、令和5年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の570名から再度の定員増を行った場合の605名に変更する。</p>																																												
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の35名の入学定員の増員は、令和5年度までの臨時定員増である。また、医学部医学科の令和4年度における収容定員は766名である。 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">(人)</th> <th style="text-align: center;">入学定員</th> <th style="text-align: center;">編入学定員</th> <th style="text-align: center;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">126</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">766</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">766</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">734</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">702</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">667</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">636</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">605</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">570</td> </tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	編入学定員	収容定員	令和4年度	126	4	766	令和5年度	130	0	766	令和6年度	95	0	734	令和7年度	95	0	702	令和8年度	95	0	667	令和9年度	95	0	636	令和10年度	95	0	605	令和11年度	95	0	570
	(人)	入学定員	編入学定員	収容定員																																									
	令和4年度	126	4	766																																									
	令和5年度	130	0	766																																									
	令和6年度	95	0	734																																									
令和7年度	95	0	702																																										
令和8年度	95	0	667																																										
令和9年度	95	0	636																																										
令和10年度	95	0	605																																										
令和11年度	95	0	570																																										
医学部 医学科	年	人	年次人	人	学士(医学) Bachelor (Medicine)	令和5年4月 第1年次	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																																						
歯学部 歯学科	年	人	年次人	人	学士(歯学) Bachelor (Dentistry)	昭和40年4月 第1年次	岩手県盛岡市 中央通一丁目3番27号																																						
薬学部 薬学科	年	人	年次人	人	学士(薬学) Bachelor (Pharmacy)	平成19年4月 第1年次	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																																						
看護学部 看護学科	年	人	3年次 5	人	学士(看護学) Bachelor (Nursing)	平成29年4月 第1年次  平成31年4月 第3年次	岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号																																						
計		373 (338)	5	1,893 (1,858)																																									
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)																																													

教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		単位	
			講義	演習	実験・実習	計				
—		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	—				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設	医学部 医学科		34 (34)	24 (24)	55 (55)	122 (122)	235 (235)	1 (1)	241 (241)
		歯学部 歯学科		22 (22)	18 (18)	11 (11)	56 (56)	107 (107)	0 (0)	213 (213)
		薬学部 薬学科		15 (15)	7 (7)	1 (1)	13 (13)	36 (36)	0 (0)	83 (83)
		看護学部 看護学科		6 (6)	4 (4)	14 (13)	6 (8)	30 (31)	5 (5)	43 (43)
		計		77 (77)	53 (53)	81 (80)	197 (199)	408 (409)	6 (9)	— (—)
	既設	教養教育センター		7 (7)	3 (3)	7 (7)	7 (7)	24 (24)	0 (0)	36 (36)
		計		7 (7)	3 (2)	7 (8)	7 (7)	24 (24)	0 (0)	— (—)
	合計			84 (84)	56 (55)	88 (88)	204 (206)	432 (433)	6 (9)	— (—)
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計			
	事務職員		302 (302)		186 (186)		488 (488)			
	技術職員		1,862 (1,862)		40 (40)		1,902 (1,902)			
	図書館専門職員		7 (7)		12 (12)		19 (19)			
	その他の職員		64 (64)		69 (69)		133 (133)			
計		2,235 (2,235)		307 (307)		2,542 (2,542)				
校地等	区分	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	149,720.82 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		149,720.82 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	92,313.78 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		92,313.78 m <sup>2</sup>			
	小計	242,034.60 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		242,034.60 m <sup>2</sup>			
	その他	291,955.31 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		291,955.31 m <sup>2</sup>			
	合計	533,989.91 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		0 m <sup>2</sup>		533,989.91 m <sup>2</sup>			
校舎		専用	共用		共用する他の学校等の専用		計			
		108,758.95 m <sup>2</sup> (108,758.95 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )		108,758.95 m <sup>2</sup> (108,758.95 m <sup>2</sup> )			
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設			
	27 室	134 室	33 室		2 室 (補助職員0人)		0 室 (補助職員0人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数					
		大学全体			259 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	307,976 [139,079] (300,326 [137,489])	13,422 [6,189] (13,422 [6,189])	5,189 [3,607] (5,189 [3,607])	1,749 (1,714)	11,391 (11,391)	48 (48)			
	計	307,976 [139,079] (300,326 [137,489])	13,422 [6,189] (13,422 [6,189])	5,189 [3,607] (5,189 [3,607])	1,749 (1,714)	11,391 (11,391)	48 (48)			
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
		5,055.78 m <sup>2</sup>		454		277,972				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		3,766.24 m <sup>2</sup>		野球場2面、サッカー・ラグビー場2面、テニスコート12面等						

経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
	教員1人当り研究費等		259千円	259千円	259千円	259千円	259千円	259千円	
	共同研究費等		195,854千円	195,854千円	195,854千円	195,854千円	195,854千円	195,854千円	
	図書購入費	117,801千円	117,801千円	117,801千円	117,801千円	117,801千円	117,801千円	117,801千円	
	設備購入費	1,008,167千円	761,310千円	760,460千円	759,600千円	758,750千円	758,750千円	758,750千円	
経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナルデータベースの整備費(運用コスト)を含む。	
		医学部 9,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円	医学部 5,000千円		
		歯学部 6,100千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円	歯学部 4,300千円		
		薬学部 2,175千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円	薬学部 1,895千円		
		看護学部 1,650千円	看護学部 1,400千円	看護学部 1,400千円	看護学部 1,400千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、研究助成金及び補助金、雑収入等						
既設大学等の状況	大学の名称	岩手医科大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	医学部 医学科	年	人	年次人	人		倍		
	歯学部 歯学科	6	126	3年次 4	766	学士(医学)	0.99	令和4年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	薬学部 薬学科	6	73	-	438	学士(歯学)	0.61	昭和40年	岩手県盛岡市中央通1-3-27
	看護学部 看護学科	6	80	-	680	学士(薬学)	0.46	平成19年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	医学研究科生理系専攻	4	90	3年次 5	370	学士(看護学)	1.00	平成29年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	医学研究科病理系専攻	4	6	-	24	博士(医学)	0.08	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	医学研究科社会医学系専攻	4	3	-	12	博士(医学)	0.33	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	医学研究科内科系専攻	4	2	-	8	博士(医学)	2.00	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	医学研究科外科系専攻	4	20	-	80	博士(医学)	0.42	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	医学研究科医科学専攻	4	19	-	76	博士(医学)	0.66	昭和35年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
	歯学研究科歯学専攻	2	10	-	20	修士(医科学)	0.55	平成16年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1
薬学研究科医療薬学専攻	4	18	-	72	博士(歯学)	0.67	昭和58年	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学研究科薬科学専攻	4	3	-	12	博士(薬学)	0.74	平成25年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
薬学研究科薬科学専攻	2	3	-	6	修士(薬科学)	0.00	平成25年	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	

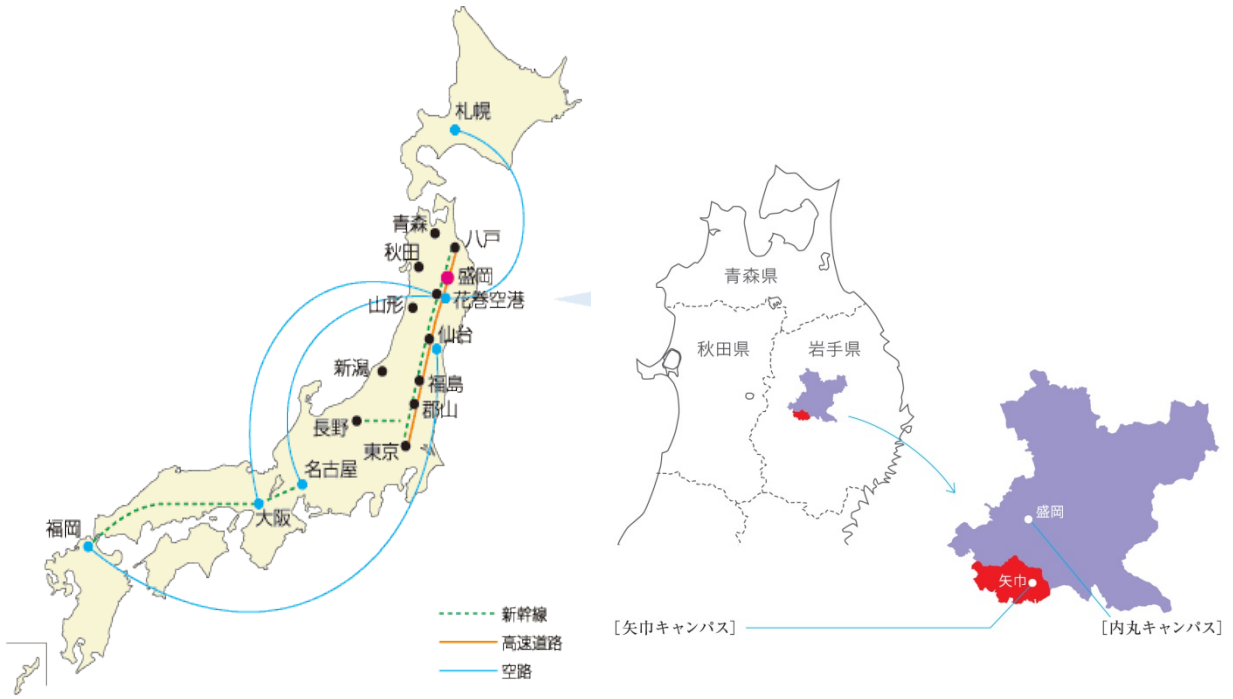
附属施設の概要	施設名称・目的・規模等	所在地	設置年
	名称：岩手医科大学附属病院 岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 目的：医学歯学の教育・実習・研究のため 規模等：土地 200,494.59㎡、建物 124,860.35㎡	岩手県紫波郡矢巾町医大通2-1-1 岩手県盛岡市内丸19-1	令和元年 令和元年
	名称：岩手医科大学附属薬用植物園 目的：薬学の教育・研究のため 規模等：面積 671.30㎡	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	平成19年

学校法人岩手医科大学 収容定員関係学則変更認可申請に関わる組織の移行表

	令和4年度 (医学部定員増をしなかった場合)			収容 定員		令和4年度 (医学部定員増をした場合)			変更の事由
	入学 定員	編入学 定員	3年次			入学 定員	編入学 定員	3年次	
岩手医科大学									
医学部			3年次						
医学科	95			570					
歯学部									
歯学科	73	-		438					
薬学部									
薬学科(6年制)	80	-		480					
看護学部			3年次						
看護学科	90	5		370					
計	338	-	5	1,858					
岩手医科大学									
大学院医学研究科(博士課程)									
生理系専攻	6	-							
病理系専攻	3	-							
社会医学系専攻	2	-		200					
内科系専攻	20	-							
外科系専攻	19	-							
大学院医学研究科(修士課程)									
医科学専攻	10	-		20					
大学院歯学研究科(博士課程)									
歯学専攻	18	-		72					
大学院薬学研究科(博士課程)									
医療薬学専攻	3	-		12					
大学院薬学研究科(修士課程)									
薬科学専攻	3	-		6					
計	84	-		310					
岩手医科大学医療専門学校									
歯科衛生学科	40	-		120					
計	40	-		120					
岩手医科大学									
医学部			3年次						
<u>医学科</u>	<u>130</u>			<u>605</u>				定員変更(35)	
歯学部									
歯学科	73	-		438					
薬学部									
薬学科(6年制)	80	-		480					
看護学部			3年次						
看護学科	90	5		370					
計	<u>373</u>	-	5	<u>1,893</u>					
岩手医科大学									
大学院医学研究科(博士課程)									
生理系専攻	6	-							
病理系専攻	3	-							
社会医学系専攻	2	-		200					
内科系専攻	20	-							
外科系専攻	19	-							
大学院医学研究科(修士課程)									
医科学専攻	10	-		20					
大学院歯学研究科(博士課程)									
歯学専攻	18	-		72					
大学院薬学研究科(博士課程)									
医療薬学専攻	3	-		12					
大学院薬学研究科(修士課程)									
薬科学専攻	3	-		6					
計	84	-		310					
岩手医科大学医療専門学校									
歯科衛生学科	40	-		120					
計	40	-		120					

# 校地校舎等の図面

## 都道府県内における位置関係の図面



## 交通機関がわかる図面



# 最寄り駅からの距離がわかる図面 校舎、運動場等の配置図

(1)盛岡以北(借用記載がないものは全て所有)

**※6 八幡平地区**

八幡平市松尾寄木

建物	59.62㎡
校地面積	935.00㎡

**※5 滝沢地区**

滝沢市留が森

建物	558.91㎡
校地面積※	1,000.00㎡

※借用：平成11年8月1日より30年

**※4 雫石地区**

雫石町第24地割字仁佐瀬

校地面積	33,497.51㎡
------	------------

雫石グラウンド(野球場)

**※3 緑が丘地区**

盛岡市緑が丘2丁目

緑が丘グラウンド(サッカー・ラグビー場他)

建物	33.24㎡
校地面積(運動場)	46,197.57㎡

**※2 前九年地区**

盛岡市前九年3丁目

校地面積	10,021.43㎡
------	------------

**※1 上田地区**

盛岡市上田2丁目

建物	2,677.44㎡
校地面積	14,850.00㎡

**本町キャンパス**

盛岡市本町通3丁目

建物	12,811.26㎡
校地面積	28,039.40㎡

**岩手医科大学医療専門学校  
歯科衛生専門課程**

盛岡市上ノ橋1丁目

建物※	3,490.14㎡
校地面積※	2,777.69㎡

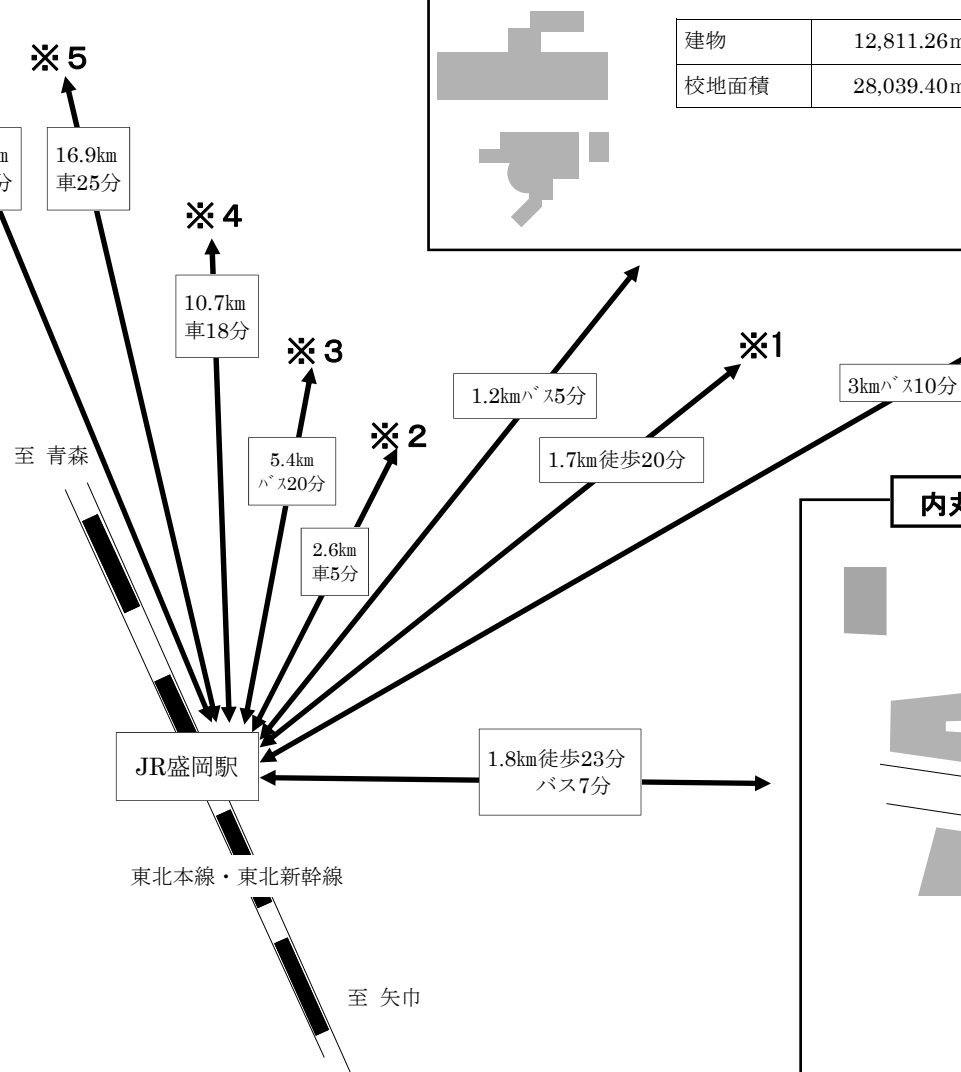
※岩手県より借用

**内丸キャンパス**

内丸メディカルセンター

盛岡市内丸19番1号

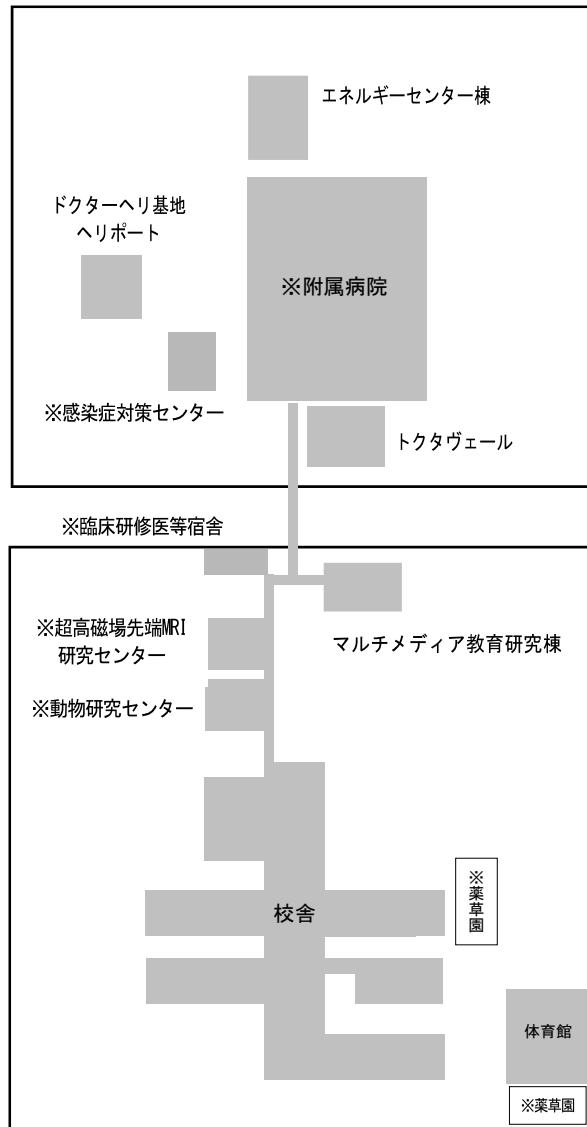
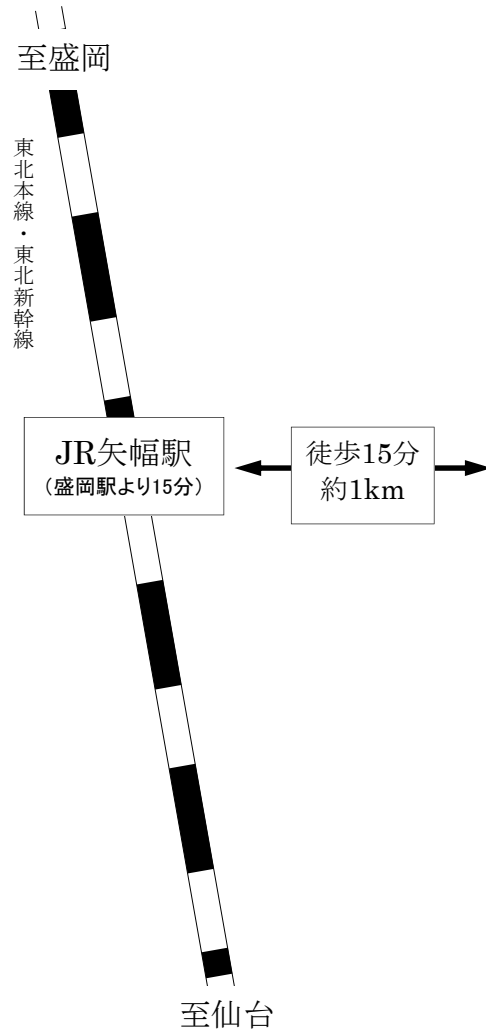
建物	109,822.49㎡
校地面積	30,862.26㎡



最寄り駅からの距離がわかる図面  
校舎、運動場等の配置図

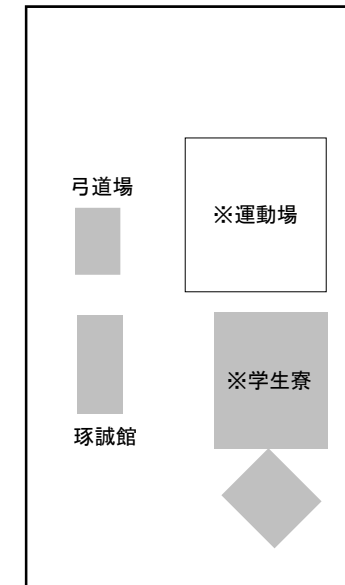
(2) 矢巾以南(盛岡市の南11kmに位置)

矢巾キャンパス



校 地：矢巾キャンパス (全て所有)  
所在地：紫波郡矢巾町医大通1丁目、2丁目  
面 積：359,679.33 m<sup>2</sup>

建 物：矢巾キャンパス (全て所有)  
面 積：192,723.6m<sup>2</sup>





# 岩手医科大学学則

## 第1章 目的及び使命

第1条 本学の目的は、医学教育、歯学教育、薬学教育及び看護学教育を通じて誠の人間を育成するにある。すなわち、まず人としての教養を高め、十分な知識と技術とを修得させ、更に進んでは専門の学理を究め、実地の修練を積み、出でては力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献させること、これが本学の使命とする所である。

2 各学部における教育研究上の目的は別に定める。

3 本学は教育研究水準の向上を図り、前項の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

4 前項の点検及び評価の方法並びに体制等については、別に定める。

## 第2章 組織及び修業年限

第2条 本学に次の学部学科を置く。

医学部 医学科

歯学部 歯学科

薬学部 薬学科

看護学部 看護学科

2 医学部、歯学部及び薬学部の修業年限は6年とし、看護学部は4年とする。

3 各学部の学生の在学年限は、次のとおりとし、通算して修業年限の2倍を超えることができない。ただし、再入学者の在学年限については別に定める。

(1) 医学部・歯学部・薬学部 同一学年につき2年

(2) 看護学部 同一学年につき3年

## 第3章 学年・学期及び休業日

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第4条 学年は、前期、後期の2期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

ただし、前期及び後期の期間は、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

第5条 定期休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 春期休業 3月16日から4月15日まで

(4) 夏期休業 7月16日から8月31日まで

(5) 冬期休業 12月23日から1月15日まで

ただし、春期、夏期及び冬期休業の期間については、学長が教育上必要と認めるときは、変更することがある。

2 臨時休業日は、その都度学長が定める。

#### 第4章 授業科目、授業時間数及び単位

第6条 各学部の授業科目等は別表1のとおりとする。

#### 第5章 授業科目の履修及び課程修了の認定

##### 第1節 医学部、歯学部

第7条 医学部、歯学部においては、第6条に定める所定の授業科目を履修しなければならない。

2 履修方法及び履修すべき授業時間数については別に定める。

3 履修した科目に単位を付与する場合は、45時間の学修を必要とする内容を1単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

第8条 所定の講義及び実習を履修した者に対し試験を行う。

2 試験に関する実施規程は別に定める。

第9条 試験の成績は、合格または不合格とし、評価等は別に定める。

##### 第2節 薬学部、看護学部

第10条 薬学部、看護学部においては、第6条に定める授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

2 履修方法及び取得すべき単位数については別に定める。

3 単位の計算は、第7条第3項を準用する。

第11条 履修した授業科目については、別に定める方法で試験を行う。

第12条 試験の成績は、第9条を準用する。

##### 第3節 全学部共通

第13条 特定の授業科目を履修した者に履修証明書を与えることがある。

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを標準とする。

第 14 条の 2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が所属する学部以外の学部の授業科目を履修することができる。

第 15 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第 16 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 17 条 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学が、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、30 単位を超えないものとし、かつ、第 15 条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）及び前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

## 第 6 章 卒業及び学位

第 18 条 医学部、歯学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目及び単位を履修修得し、試験に合格した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、医学部を卒業した者には学士（医学）、歯学部を卒業した者には学士（歯学）の学位を授与する。

2 薬学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、薬学実務実習 20 単位以上を含む 186 単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与する。

3 看護学部においては第 2 条に定める期間を在学し、かつ、第 6 条に定める所定の授業科目を履修のうえ、試験に合格し、124 単位以上を修得した者は、当該学部教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

## 第7章 入学、休学、再入学、転入学、編入学、転部入学及び退学

第19条 入学の時期は、学年の始めとする。

第20条 本学に入学資格のある者は、次の各号の一に該当しなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。
- (3) 外国において、学校教育12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定資格試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
- (7) その他、相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者。

第21条 入学志願者は、所定の入学願書に、履歴書、資格証明書、写真及び入学検定料を添えて学長に願い出なければならない。

第22条 本学に入学を志願した者については、教授会の議を経て学長が入学の許可、不許可を決定する。

2 本学を退学した者で、本学に再入学を志願する者については、欠員のある場合に限り、別に定めるところにより選考し、教授会の議を経て学長が相当年次に入学を許可することができる。

第23条 入学を許可された者は、本学所定の方式によって宣誓し、保証人2名を定めて在学保証書その他所定の書類を提出し、かつ所定の期日までに入学金を納入しなければならない。

第24条 保証人は、学生本人の父兄及び独立の生計を営む成年者とする。ただし、保証人のうち1名は学費負担者でなければならない。

2 保証人は学生の在学中の一切のことについて責任を負わなければならない。

3 保証人が死亡し、あるいはその資格を失ったときは、直ちに第1項の規定によって新たに設けなければならない。

第25条 学生、保証人が氏名、本籍、住所を変更した場合は直ちに届け出なければならない。

第26条 病気、その他やむを得ない事由により3ヶ月以上修学できないときは、その事由を証明する書類を添え保証人連署の休学願を提出し、教授会の議を経て学長の許可を得なければならない。

2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし特別の事情がある場合は、教授会の議を経て学長が更に1年以内の休学を許可することができる。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、在学期間に算入しない。

第 27 条 休学期間であっても事故止みとなり復学を願い出た場合は、教授会の議を経て許可することがある。

第 28 条 他の大学から本学に、本学から他の大学に転入学、編入学を願い出た者がある場合は、教授会の議を経て学長が許可することがある。

2 本学の第 1 学年の学生で他学部への転部入学を希望する者があるときは、選考の上、第 2 学年の始めに限り転部入学を許可することがある。ただし、看護学部は除くものとする。

3 転入学、編入学、転部入学に関する規程は、別に定める。

第 29 条 本学を退学しようとする場合は、その事由を明記し、保証人連署の退学願を提出し教授会の議を経て、学長の許可を受けなければならない。ただし、退学の事由が病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

## 第 8 章 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費

第 30 条 入学検定料、入学金、授業料、その他の学費（以下授業料等という）の額は別表 2 に定める。

第 31 条 授業料等の納入は、次の各号のとおりとする。

(1) 入学金は、入学手続き時に納入しなければならない。

(2) 入学初年度の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、入学初年度は入学手続き時に納入しなければならない。ただし、半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合には所定の期日までに納入しなければならない。

(3) 入学次年度以降の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費は、毎年 4 月 25 日までに納入しなければならない。ただし、授業料は半額ずつ分納することができるものとし、分納する場合の 2 回目の納入期限日は 9 月 25 日までとする。

(4) 薬学部第 5 学年の長期実務実習にかかる費用の額及び納入方法は、別に定める。

第 32 条 授業料等を所定期日までに納入しない場合は、納入するまでその者の出席を停止し、30 日を経過して、なお納入しない場合は、学長がこれを除籍することがある。

第 33 条 納入した授業料等は、返還しない。ただし、入学手続きを完了したもので、所定期日までに入学辞退の届出を行い、かつ授業料等の返還を申し出た者については、入学検定料及び入学金を除く外の納入金を返還する。

2 前項の規定にかかわらず、休学期間中の授業料および実験実習費は、休学を許可された月の翌月から復学を許可された月の前月までの月割計算による額の半額を免除する。

## 第 9 章 職員組織

第 34 条 本学に次の職員を置く。

学長・副学長・教授・准教授・講師・助教・助手・技術員・事務員・その他必要な職員。

2 職員の定員に関しては、別にこれを定める。

## 第10章 教授会

第35条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、医学部、歯学部、薬学部及び看護学部のそれぞれの専任教授をもって当該学部毎に組織する。
- 3 教授会は、学長が次の事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
  - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - (2) 学位の授与
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、別に定めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 教授会の運営に関する規程は、別に定める。

## 第11章 学生収容定員

第36条 各学部の学生定員は次のとおりとする。

医学部医学科	入学定員	95名	収容定員	570名		
歯学部歯学科	入学定員	73名	収容定員	438名		
薬学部薬学科	入学定員	80名	収容定員	480名		
看護学部看護学科	入学定員	90名	3年次編入学定員	5名	収容定員	370名

## 第12章 研究生・研修生・研究員・聴講生・科目等履修生及び外国人学生

第37条 本学において特殊事項に関する研究及び研修を志願する者については、選考のうえ研究生、研修生、研究員として許可することができる。

- 2 研究生、研修生、研究員に関する規程は、別に定める。

第38条 本学に聴講を希望する者がある場合は、選考のうえ聴講生として入学を許可することができる。

- 2 聴講生の規程は、別に定める。

第38条の2 本学の学生以外の者で、本学が開講する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、授業に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生の規程は、別にこれを定める。

第38条の3 研究生、研修生、研究員、聴講生には、第8条、第9条、第11条、第12条、第18条、第19条、第20条、第30条及び第40条は、これを適用しない。

第39条 外国人留学生を入学させることがある。外国人学生は、特に規定あるものの外は本学則の一般規定を準用する。

## 第13章 賞罰

第40条 人物及び学業の優秀な者は、教授会の議を経て学長がこれを表彰することがある。

第41条 学生がその本分にもとる行為をした場合は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、戒告、停学、退学、退学のうえ除籍の4種とする。

第42条 次の各号の一に該当する学生は、教授会の議を経て学長が退学又は退学のうえ除籍することができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく欠席が多い者
- (4) 本学の秩序を乱す者

## 第14章 附属施設

第43条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 附属病院
- (3) 附属薬用植物園

2 附属図書館規程、附属病院規程及び附属薬用植物園規程は、別に定める。

## 第15章 学生の厚生補導等

第44条 学生の厚生補導の充実を図るため、学生部を置く。

2 学生部規程および学生の厚生及び補導については別に定める。

第45条 本学に学生寮を置くことができる。

## 第16章 学生心得

第46条 学生心得は、別に定める。

## 第17章 改廃

第47条 この学則の改廃は、関係学部教授会及び教学運営会議の議を経て理事会が決定するものとする。

附 則

この学則は、昭和22年6月18日から施行する。

附 則

この学則は、昭和27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 29 年 9 月 15 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この学則は、昭和 44 年 4 月 1 日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

1 この学則は、昭和 46 年 1 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 46 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

1 この学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 24 条の授業料等については、昭和 48 年以前から在学している者に対してはなお従前の例による。

附 則

1 この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料等は、第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 50 年 10 月 24 日から施行する。

附 則

1 この学則は、昭和 52 年 1 月 1 日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

1 この学則は、昭和 53 年 2 月 1 日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和 54 年 2 月 1 日から施行する。

附 則

1 この学則は、昭和 55 年 2 月 1 日から施行する。

2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。



附 則

- 1 この学則は、昭和 57 年 1 月 5 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料及び実験実習費は第 24 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 59 年 1 月 2 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらずなお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和 61 年 1 月 6 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条及び第 25 条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、昭和 62 年 10 月 20 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料、実験実習費及び施設整備費は第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 24 条第 1 項に定める歯学部学納金のうち、実験実習費並びに施設整備費の ( ) 書は昭和 63 年度以降歯学部に入学者に適用する。
- 3 この改正学則施行の際、昭和 60 年度以前に入学し、在学している学生については、第 24 条第 3 項の規定は適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学している学生については、第 20 条第 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定は、平成 2 年 4 月 1 日より適用する。  
ただし、この改正学則施行の際、現に休学している学生については、第 20 条 2 項、第 3 項および第 27 条第 2 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 2 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 3 年 11 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第 24 条第 1 項の規定にかかわらず従前どおりとする。  
ただし、消費税法の一部を改正する法律（平成 3 年 5 月 15 日法律第 73 号）の改正にともない、第 24 条の入学金及び施設整備費は非課税とする。

附 則

- 1 この学則は、平成5年11月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成7年9月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年9月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の在学年限は、第2条第3項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成13年10月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成14年10月1日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の授業料その他の学費は、第24条第1項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年11月30日付、文部科学大臣からの薬学部設置認可に伴い改正し、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 第36条の規定にかかわらず、平成20年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度～ 29年度
入学定員	90人	90人	90人	90人	90人	90人
収容定員	490人	500人	510人	520人	530人	540人

- 3 第31条の規程にかかわらず、本附則第2項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

この学則は、平成 20 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

- この学則は、平成21年 4 月 1 日から施行する。
- 第36条の規定にかかわらず、平成21年度から平成29年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	505人	520人	535人	550人	565人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第 2 項のうち医学部地域枠特別推薦入学による入学生（岩手県医師養成事業奨学金制度利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

附 則

- この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 学生定員の取扱については、平成 20 年 8 月 5 日付、文部科学省からの「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について（通知）」に基づき改定するものとし、平成 20 年 4 月 1 日の「新医師確保総合対策」に基づく附則、ならびに平成 21 年 4 月 1 日施行の「緊急医師確保対策」に基づく附則に関わらず次のとおりとする。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～ 29年度
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
収容定員	520人	550人	580人	610人	640人	660人

附 則

- この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 36 条の規定にかかわらず、平成 22 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 ～29年度	平成30年度
入学定員	125人	125人	125人	125人	125人	125人	110人
収容定員	565人	610人	655人	700人	735人	750人	735人
	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
入学定員	110人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	720人	690人	660人	630人	600人	585人	570人

- 第31条の規程にかかわらず、本附則第 2 項のうち医学部地域枠等に係る入学生（地方自治体による医学生奨学金制度等を利用の者）の授業料、実験実習費、施設整備費、及び教育充実費の納入法については、別に定める。

- 4 第36条の規定にかかわらず、平成22年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度～ 31年度
入学定員	75人	75人	75人	75人	75人	75人
収容定員	475人	470人	465人	460人	455人	450人

附 則

- この学則は、平成23年4月1日から施行する。(平成22年6月28日一部改正)
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第30条の規定にかかわらず従前どおりとする。
- この学則は、平成23年4月1日から施行する。(平成23年2月28日一部改正)

附 則

この学則は、平成23年6月1日から施行する。(平成23年5月30日一部改正)

附 則

- この学則は、平成24年7月1日から施行する。(平成24年6月25日一部改正)
- この改正学則施行の際、現に在学中の学生の学納金は第30条の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- この学則は、平成25年4月1日から施行する。(平成24年10月29日一部改正)
- 第36条の規定にかかわらず、平成25年度から平成37年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
入学定員	123人	123人	123人	123人	123人	108人	108人
編入学定員	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人
収容定員	705人	745人	765人	770人	768人	751人	736人
	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人	
編入学定員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
収容定員	701人	666人	631人	596人	583人	570人	

- 第36条の規定にかかわらず、平成25年度から平成31年度までの間における歯学部歯学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度～ 31年度
入学定員	73人	73人	73人	73人	73人	73人
収容定員	458人	451人	444人	442人	440人	438人

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。（平成 27 年 3 月 23 日一部改正）

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 8 月 31 日付、文部科学大臣からの看護学部設置認可に伴い改正し、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この改正学則施行の際、現に在学中の学生の同一学年在学年限は、第 2 条第 3 項の規定にかかわらず従前どおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（平成 29 年 7 月 31 日一部改正、平成 30 年 3 月 26 日一部改正(別表 1 第 6 条関係の変更)）
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 37 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
入学定員	123 人	123 人	95 人	95 人	95 人	95 人	95 人
編入学定員	7 人	7 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
収容定員	766 人	766 人	731 人	696 人	661 人	626 人	598 人
	平成37年度						
入学定員	95 人						
編入学定員	0 人						
収容定員	570 人						

- 3 第 36 条の規定にかかわらず、平成 30 年度から平成 35 年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
入学定員	120 人	120 人	120 人	120 人	120 人	120 人
収容定員	920 人	880 人	840 人	800 人	760 人	720 人

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。（平成 30 年 4 月 23 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更）、平成 31 年 3 月 25 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））

附 則

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。（令和元年 7 月 29 日一部改正、令和 2 年 3 月 30 日一部改正（別表 1 第 6 条関係の変更））
- 2 第 36 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から令和 9 年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	126人	126人	95人	95人	95人	95人	95人
編入学定員	4人	4人	0人	0人	0人	0人	0人
収容定員	766人	766人	731人	696人	664人	632人	601人
	令和9年度						
入学定員	95人						
編入学定員	0人						
収容定員	570人						

附 則

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。（令和2年6月29日一部改正、令和3年3月29日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和3年度から令和8年度までの間における薬学部薬学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人	80人
収容定員	760人	680人	600人	560人	520人	480人

附 則

- この学則は、令和4年4月1日から施行する。（令和3年4月26日一部改正（別表1第6条関係の変更）、令和3年7月26日一部改正、令和4年3月28日一部改正（別表1第6条関係の変更））
- 第36条の規定にかかわらず、令和4年度から令和10年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	126人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
編入学定員	4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
収容定員	766人	731人	699人	667人	632人	601人	570人

附 則

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。（令和4年9月6日一部改正）
- 第36条の規定にかかわらず、令和5年度から令和11年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	130人	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	766人	734人	702人	667人	636人	605人	570人



別表1 (第6条関係:歯学部)

科目区分	科目名	履修年次	時間数	単位	区分	備考
教養教育科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	24.0	2	演習	必修
	医療倫理学	1	21.0	1	講義	必修
	法学	1	21.0	1	講義	必修
	心理学	1	12.0	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	1	12.0	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	15.0	1	講義	必修
	データサイエンス	1	21.0	1	講義	必修
	情報リテラシー	1	21.0	1	演習	必修
	物理学	1	21.0	1	講義	必修
	物理学実習	1	31.5	1	実習	必修
	専門課程への化学	1	21.0	1	講義	必修
	化学実習	1	31.5	1	実習	必修
	エッセンシャル生物	1	12.0	1	講義	必修
	専門課程への生物学	1	21.0	1	講義	必修
	生物学実習	1	31.5	1	実習	必修
	English Reading & Writing	1	42.0	3	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	42.0	3	講義	必修
	健康運動科学	1	12.0	2	講義 実習	必修
	ベーシック生物	1	21.0	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	21.0	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	21.0	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	21.0	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	21.0	1	講義	選択
	解析学入門	1	21.0	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	21.0	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	21.0	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	21.0	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	21.0	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	21.0	1	講義	選択
	文学の世界	1	21.0	1	講義	選択
	実践英語	1	21.0	1	講義	選択
	医療と福祉	1	21.0	1	講義	選択
	科学英語	1	15.0	1	講義	選択
	医療と物語	1	15.0	1	講義	選択
	人間関係論	1	15.0	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	15.0	1	講義	選択
	哲学の世界	1	15.0	1	講義	選択
	医療と法律	1	15.0	1	講義	選択
	医学統計学	2	19.5	1	講義	必修

科目区分	科目名	履修年次	時間数	単位	区分	備考
歯学専門科目	歯科医学概論	1	37.5	講義	必修	
	(看護・介護体験実習)	1	52.5	実習	必修	
	解剖学	1	34.5	講義	必修	
	組織学	1	22.5	講義	必修	
	生理学	1	19.5	講義	必修	
	生化学	1	24.0	講義	必修	
	基礎歯科学入門	1	22.5	講義	必修	
	臨床歯科学入門	1	33.0	講義	必修	
	解剖学	2	67.5	講義	必修	
	解剖学実習	2	132.0	実習	必修	
	組織学	2	49.5	講義	必修	
	組織学実習	2	81.0	実習	必修	
	生理学	2	85.5	講義	必修	
	生理学実習	2	19.5	実習	必修	
	生化学	2	45.0	講義	必修	
	生化学実習	2	30.0	実習	必修	
	歯科理工学	2	39.0	講義	必修	
	歯科理工学実習	2	24.0	実習	必修	
	微生物学・免疫学 I	2	48.0	講義	必修	
	薬理学	2	39.0	講義	必修	
	薬理学実習	2	15.0	実習	必修	
	病理学	2	19.5	講義	必修	
	病理学実習	2	24.0	実習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	時間数	単位	区分	備考
歯学専門科目	衛生・公衆衛生学	2	24.0	講義	必修	
	衛生・公衆衛生学実習	2	6.0	実習	必修	
	歯科専門体験実習	2	36.0	実習	必修	
	専門英語 (2年)	2	27.0	講義	必修	
	歯科理工学	3	30.0	講義	必修	
	歯科理工学実習	3	22.5	実習	必修	
	病理学	3	28.5	講義	必修	
	病理学実習	3	39.0	実習	必修	
	微生物学・免疫学 II	3	16.5	講義	必修	
	微生物学・免疫学 II 実習	3	24.0	実習	必修	
	薬理学	3	42.0	講義	必修	
	社会と歯学	3	31.5	講義	必修	
	社会と歯学実習	3	9.0	実習	必修	
	歯科放射線学	3	25.5	講義	必修	
	医科学総論	3	28.5	講義	必修	
	基礎科学演習	3	27.0	演習	必修	
	コア歯学教育演習基礎	3	82.5	講義	必修	
	医療リベラルアーツ	3	18.0	講義	必修	
	チーム医療リテラシー	3	18.0	講義	必修	
	歯科患者を診るためのIntroduction	3	49.5	講義	必修	
	歯科患者を診るためのIntroduction実習	3	52.5	実習	必修	
	口腔疾患の診断・治療計画及び予防	3	48.0	講義	必修	
	口腔疾患の診断・治療計画及び予防実習	3	24.0	実習	必修	
	口腔治療学 (硬組織、歯髄、歯周組織疾患)	3	144.0	講義	必修	
	口腔治療学 (硬組織、歯髄、歯周組織疾患) 実習	3	126.0	実習	必修	
	補綴歯科治療	4	103.5	講義	必修	
	補綴歯科治療実習	4	217.5	実習	必修	
	医科学 (I)	4	30.0	講義	必修	
	全身管理と歯科麻酔	4	75.0	講義	必修	
	口腔外科的治療	4	123.0	講義	必修	
	成長発達歯科医学と障害者の歯科治療	4	102.0	講義	必修	
	成長発達歯科医学と障害者の歯科治療実習	4	66.0	実習	必修	
	先進歯科医学	4	66.0	講義	必修	
	先進歯科医学実習	4	22.5	実習	必修	
	コア歯学教育演習 (I)	4	154.5	演習	必修	
	コア歯学教育演習 (II)	4	43.5	演習	必修	
	専門英語 (4年)	4	9.0	講義	必修	
	総合講義 (I)	5	216.0	講義	必修	
	臨床実習	5	1270.0	実習	必修	
	医科学 (II)	5	63.0	講義	必修	
	総合講義 (II)	6	893.0	講義	必修	
	4学部合同セミナー	6	7.5	演習	必修	

※歯科患者を診るためのIntroduction (IDP)  
 ※口腔疾患の診断・治療計画及び予防 (DTP)  
 ※口腔治療学 (硬組織、歯髄、歯周組織疾患) (TxAD)  
 ※補綴歯科治療 (FR)  
 ※全身管理と歯科麻酔 (SmAD)  
 ※医科学 (I) (MSD-I)  
 ※口腔外科的治療 (AST)  
 ※成長発達歯科医学と障害者の歯科治療 (Txch)  
 ※先進歯科医学 (AD)

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考
自由科目	海外英語演習	1~6	2.0	演習	自由
自由科目	地域医療課題解決演習	1~6	1.0	演習	自由



別表1 (第6条関係:薬学部)  
(1) 2022年度以降入学用者

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修	
	法学	1	1	講義	必修	
	薬学数学2	1	1	講義	必修	
	基礎物理学	1	1	講義	必修	
	物理学実習	1	1	実習	必修	
	情報科学	1	1	講義	必修	
	基礎化学	1	1	講義	必修	
	化学実習	1	1	実習	必修	
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修	
	薬学生物3(生命システム)	1	1	講義	必修	
	生物学実習	1	1	実習	必修	
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修	
	健康運動科学	1	2	講義	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	心理学	2	1	講義	必修	
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
	データサイエンス	2	1	講義	必修	
	薬学専門科目	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
		薬学数学1	1	1	講義	必修
		薬学生物1(機能形態)	1	1	講義	必修
		薬学生物2(生体分子)	1	1	講義	必修
		分析科学入門	1	1	講義	必修
薬学入門		1	2	講義	必修	
薬化学の基礎		1	2	講義	必修	
機能形態学		1	1	講義	必修	
早期体験学習		1	1	実習	必修	
環境衛生学		2	1	講義	必修	
化学療法学1		2	1	講義	必修	
細胞生物学		2	1	講義	必修	
免疫生物学1		2	1	講義	必修	
食品衛生学		2	2	講義	必修	
生化学1(タンパク質科学)		2	1	講義	必修	
生化学2(エネルギー代謝)		2	1	講義	必修	
創剤学1		2	1	講義	必修	
微生物学		2	1	講義	必修	
物理化学1(分子の性質と電磁波)		2	2	講義	必修	
物理化学2(物質のエネルギーと平衡)		2	1	講義	必修	
分析化学1		2	1	講義	必修	
分析化学2		2	1	講義	必修	
薬学実践英語1		2	1	講義	必修	
早期臨床体験		2	2	講義	必修	
基礎演習1		2	1	演習	必修	
分析化学計算演習		2	1	演習	必修	
薬学実習1		2	3	実習	必修	
薬物動態学1		2	1	講義	必修	
薬理学1		2	2	講義	必修	
薬理学2		2	2	講義	必修	
有機スペクトル解析1		2	1	講義	必修	
有機薬化学1(炭素-炭素多重結合の化学)		2	1	講義	必修	
有機薬化学2(炭素-ヘテロ原子単結合の化学)		2	1	講義	必修	
生化学3(ゲノムサイエンス)		2	1	講義	必修	
解剖学		2	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1(消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2(内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3(血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1(生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4(循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	講義	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3(炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3(平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生生の将来-多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	講義	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修	
臨床医学概論	4	2	講義	必修	
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論(衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論(生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
自由科目	海外外国語研修(海外英語演習)	1~6	2	演習	自由
	地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由
	遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由
	遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由
	予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由
	一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由
	放射科学実習	3	0.5	実習	自由
	アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由
	生物と病態・薬理の狭間をひも解く	5	1	講義	自由
	感染制御学	5	0.5	講義	自由
	岩手県総合防災訓練から学ぶ	5~6	0.5	講義	自由
	実践チーム医療論(病棟実習)	6	1	実習	自由
	多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(2) 2021年度入学者用 (2学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修	
	法学	1	1	講義	必修	
	基礎数学	1	1	講義	必修	
	基礎物理学	1	1	講義	必修	
	物理学実習	1	1	実習	必修	
	情報科学	1	1	講義	必修	
	情報科学演習	1	2	演習	必修	
	基礎化学	1	1	講義	必修	
	化学実習	1	1	実習	必修	
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修	
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修	
	生物学実習	1	1	実習	必修	
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修	
	健康運動科学	1	2	講義	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	英語学	1	1	講義	選択	
	心理学	2	1	講義	必修	
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
	データサイエンス	2	1	講義	必修	
	薬学専門科目	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
		薬学基礎数学	1	1	講義	必修
		薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修
薬学生物2 (生体分子)		1	1	講義	必修	
分析科学入門		1	1	講義	必修	
薬学入門		1	2	講義	必修	
薬化学の基礎		1	2	講義	必修	
機能形態学		1	1	講義	必修	
早期体験学習		1	1	実習	必修	
環境衛生学		2	1	講義	必修	
化学療法学1		2	1	講義	必修	
細胞生物学		2	1	講義	必修	
免疫生物学1		2	1	講義	必修	
食品衛生学		2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)		2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)		2	1	講義	必修	
創剤学1		2	1	講義	必修	
微生物学		2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)		2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)		2	1	講義	必修	
分析化学1		2	1	講義	必修	
分析化学2		2	1	講義	必修	
薬学実践英語1		2	1	講義	必修	
早期臨床体験		2	2	講義	必修	
基礎演習1		2	1	演習	必修	
分析化学計算演習		2	1	演習	必修	
薬学実習1		2	3	実習	必修	
薬物動態学1		2	1	講義	必修	
薬理学1		2	2	講義	必修	
薬理学2		2	2	講義	必修	
有機スペクトル解析1		2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)		2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)		2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)		2	1	講義	必修	
解剖学		2	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	講義	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	講義	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修	
臨床医学概論	4	2	講義	必修	
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
自由科目	海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由
	地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由
	遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由
	遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由
	予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由
	一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由
	放射科学実習	3	0.5	実習	自由
	アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由
	生物と病態・薬理の狭間をひも解く	5	1	講義	自由
	感染制御学	5	0.5	講義	自由
	岩手県総合防災訓練から学ぶ	5~6	0.5	講義	自由
	実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由
	多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(3) 2020年度入学者用 (3学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修	
	法学	1	1	講義	必修	
	基礎数学	1	1	講義	必修	
	基礎物理学	1	1	講義	必修	
	物理学実習	1	1	実習	必修	
	情報科学	1	1	講義	必修	
	情報科学演習	1	2	演習	必修	
	基礎化学	1	1	講義	必修	
	化学実習	1	1	実習	必修	
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修	
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修	
	生物学実習	1	1	実習	必修	
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修	
	健康運動科学	1	2	講義	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	英語学	1	1	講義	選択	
	心理学	2	1	講義	必修	
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
	基礎統計学	2	1	講義	必修	
	薬学専門科目	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	2	講義	必修
		薬学基礎数学	1	1	講義	必修
		演習で学ぶ薬化学基礎	1	1	講義	必修
薬学生物1 (機能形態)		1	1	講義	必修	
薬学生物2 (生体分子)		1	1	講義	必修	
分析科学入門		1	1	講義	必修	
薬学入門		1	2	講義	必修	
薬化学の基礎		1	1	講義	必修	
機能形態学		1	1	講義	必修	
早期体験学習		1	1	実習	必修	
環境衛生学		2	1	講義	必修	
化学療法学1		2	1	講義	必修	
細胞生物学		2	1	講義	必修	
免疫生物学1		2	1	講義	必修	
食品衛生学		2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)		2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)		2	1	講義	必修	
創剤学1		2	1	講義	必修	
微生物学		2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)		2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)		2	1	講義	必修	
分析化学1		2	1	講義	必修	
分析化学2		2	1	講義	必修	
薬学実践英語1		2	1	講義	必修	
早期臨床体験		2	1	講義	必修	
基礎総合講義1		2	1	演習	必修	
基礎総合講義2		2	1	演習	必修	
分析化学計算演習		2	1	演習	必修	
薬学実習1		2	3	実習	必修	
薬物動態学1		2	1	講義	必修	
薬理学1		2	2	講義	必修	
薬理学2		2	2	講義	必修	
有機スペクトル解析1		2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)		2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)		2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)		2	1	講義	必修	
解剖学		2	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	感染症学	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学1 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	天然物化学2	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学実践英語2	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	講義	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	基礎演習2	3	1	演習	必修
	基礎演習3	3	1	演習	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の方来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	講義	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修	
臨床医学概論	4	2	講義	必修	
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
自由科目	海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由
	地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由
	遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由
	遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由
	予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由
	一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由
	放射科学実習	3	0.5	実習	自由
	アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由
	生物と病態・薬理の狭間をひも解く	5	1	講義	自由
	感染制御学	5	0.5	講義	自由
	岩手県総合防災訓練から学ぶ	5~6	0.5	講義	自由
	実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(4) 2019年度入学者用 (4学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	法学	1	1	講義	必修
	基礎数学	1	1	講義	必修
	基礎物理学	1	1	講義	必修
	物理学実習	1	1	実習	必修
	情報科学	1	1	講義	必修
	情報科学演習	1	2	演習	必修
	基礎化学	1	1	講義	必修
	化学実習	1	1	実習	必修
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修
	生物学実習	1	1	実習	必修
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	英語学	1	1	講義	選択
	心理学	2	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修
	基礎統計学	2	1	講義	必修
	はじめて学ぶ大学の有機化学	2	2	講義	必修
	薬学基礎数学	1	1	講義	必修
	演習で学ぶ薬化学基礎	1	1	講義	必修
薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修	
薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修	
分析科学入門	1	1	講義	必修	
薬学入門	1	2	講義	必修	
薬化学の基礎	1	1	講義	必修	
機能形態学	1	1	講義	必修	
早期体験学習	1	1	実習	必修	
環境衛生学	2	1	講義	必修	
感染症学	2	1	講義	必修	
細胞生物学	2	1	講義	必修	
免疫生物学1	2	1	講義	必修	
食品衛生学	2	2	講義	必修	
生化学1 (タンパク質科学)	2	1	講義	必修	
生化学2 (エネルギー代謝)	2	1	講義	必修	
創剤学1	2	1	講義	必修	
天然物化学1	2	1	講義	必修	
微生物学	2	1	講義	必修	
物理化学1 (分子の性質と電磁波)	2	2	講義	必修	
物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)	2	1	講義	必修	
分析化学1	2	1	講義	必修	
分析化学2	2	1	講義	必修	
薬学英語1	2	1	講義	必修	
薬学英語2	2	1	講義	必修	
早期臨床体験	2	1	講義	必修	
基礎総合講義1	2	1	演習	必修	
基礎総合講義2	2	1	演習	必修	
分析化学計算演習	2	1	演習	必修	
薬学実習1	2	3	実習	必修	
薬物動態学1	2	1	講義	必修	
薬理学1	2	2	講義	必修	
薬理学2	2	2	講義	必修	
有機構造解析1	2	1	講義	必修	
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)	2	1	講義	必修	
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	2	1	講義	必修	
生化学3 (ゲノムサイエンス)	2	1	講義	必修	
解剖学	2	1	講義	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	化学療法学1	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学2 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学英語3	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	5	講義	必修
	医薬安全化学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	薬学生の方来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	卒業研究1	4	4	講義	必修
	総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
	日本薬局方概論	4	1	講義	必修
	薬学実習3	4	1	実習	必修
	薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修
	臨床医学概論	4	2	講義	必修
	臨床薬学1	4	1	講義	必修
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由	
地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由	
遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由	
遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由	
予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由	
一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由	
放射科学実習	3	0.5	実習	自由	
アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由	
生物と病態・薬理の狭間をひも解く	5	1	講義	自由	
感染制御学	5	0.5	講義	自由	
岩手県総合防災訓練から学ぶ	5~6	0.5	講義	自由	
実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由	
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(5) 2018年度入学者用 (5学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	法学	1	1	講義	必修
	基礎数学	1	1	講義	必修
	基礎物理学	1	1	講義	必修
	物理学実習	1	1	実習	必修
	情報科学	1	1	講義	必修
	情報科学演習	1	2	演習	必修
	基礎化学	1	1	講義	必修
	化学実習	1	1	実習	必修
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修
	生物学実習	1	1	実習	必修
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	医療と物語	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	人間関係論	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療と法律	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択
	哲学の世界	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	科学英語	1	1	講義	選択
	英語学	1	1	講義	選択
	心理学	2	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	2	1	講義	必修
医療面接の基礎	2	1	講義	必修	
基礎統計学	2	1	講義	必修	
薬学専門科目	はじめて学ぶ大学の有機化学	1	1	講義	必修
	有機化学を学ぶために	1	1	講義	必修
	薬学基礎数学	1	1	講義	必修
	演習で学ぶ薬化学基礎	1	1	講義	必修
	薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修
	薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修
	分析科学入門	1	1	講義	必修
	薬学入門	1	1	講義	必修
	薬化学の基礎	1	1	講義	必修
	早期体験学習	1	1	実習	必修
	環境衛生学	2	1	講義	必修
	感染症学	2	1	講義	必修
	機能形態学1	2	1	講義	必修
	機能形態学2	2	1	講義	必修
	細胞生物学	2	1	講義	必修
	免疫生物学1	2	1	講義	必修
	食品衛生学	2	2	講義	必修
	生化学1 (タンパク質科学)	2	1	講義	必修
	生化学2 (エネルギー代謝)	2	1	講義	必修
	創剤学1	2	1	講義	必修
	天然物化学1	2	1	講義	必修
	微生物学	2	1	講義	必修
	物理化学1 (分子の性質と電磁波)	2	2	講義	必修
	物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)	2	1	講義	必修
	分析化学1	2	1	講義	必修
	分析化学2	2	1	講義	必修
	薬学英語1	2	1	講義	必修
	薬学英語2	2	1	講義	必修
	早期臨床体験	2	1	講義	必修
	基礎総合講義1	2	1	演習	必修
	基礎総合講義2	2	1	演習	必修
	分析化学計算演習	2	1	演習	必修
	薬学実習1	2	3	実習	必修
	薬物動態学1	2	1	講義	必修
	薬理学1・2 (総論、自律神経系・消化器系・循環器系・代謝系・呼吸器系の薬理)	2	2	講義	必修
	有機構造解析1	2	1	講義	必修
	有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)	2	1	講義	必修
	有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	2	1	講義	必修
	生化学3 (ゲノムサイエンス)	2	1	講義	必修
	解剖学	2	1	講義	必修

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	化学療法学1	3	1	講義	必修
	化学療法学2	3	1	講義	必修
	看護体験実習	3	1	実習	必修
	構造生物学	3	1	講義	必修
	医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・神経・筋・遺伝性疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	薬理学4	3	2	講義	必修
	免疫生物学2	3	1	講義	必修
	応用生体防御学	3	1	講義	必修
	創剤学2	3	1	講義	必修
	有機生体制御化学	3	2	講義	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	臨床薬学入門	3	1	講義	必修
	天然物化学2 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	毒性学	3	1	講義	必修
	医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	放射化学	3	1	講義	必修
	保健衛生学	3	1	講義	必修
	薬学英語3	3	1	講義	必修
	薬学実習2	3	6	講義	必修
	医薬安全性学	3	1	演習	必修
	薬物送達学	3	1	講義	必修
	薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	薬物動態学2	3	1	講義	必修
	薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	薬理学3	3	1	講義	必修
	有機構造解析2	3	1	講義	必修
	有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	臨床分析化学	3	1	講義	必修
	物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	実践生化学	4	1	講義	必修
	実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医薬情報科学	4	1	講義	必修
	医療統計学	4	1	講義	必修
	医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	実務基礎実習	4	5	実習	必修
	症例・処方解析学	4	2	講義	必修
薬学生の将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修	
卒業研究1	4	4	講義	必修	
総合薬物治療演習	4	5	演習	必修	
日本薬局方概論	4	1	講義	必修	
薬学実習3	4	1	実習	必修	
薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修	
臨床医学概論	4	2	講義	必修	
臨床薬学1	4	1	講義	必修	
臨床薬学2	4	1	講義	必修	
臨床薬学3	4	1	講義	必修	
実務実習	5	20	実習	必修	
医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修	
治療戦略概論	5	1	講義	必修	
薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修	
薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修	
卒業研究2	5~6	6	実習	必修	
地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修	
臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修	
総合演習	6	3	演習	必修	
総合講義	6	5	講義	必修	
4学部合同セミナー	6	1	演習	必修	
自由科目	海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由
	薬学研究入門	1~3	0.5	実習	自由
	地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由
	遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由
	自分をかえる脳科学	2~3	0.5	講義	自由
	遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由
	予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由
	一般用医薬品入門	2~4	0.5	講義	自由
	放射科学実習	3	0.5	実習	自由
	物理化学演習	3	1	演習	自由
	アンチ・ドーピング	4	0.5	講義	自由
	生物と病態・薬理の狭間をひも解く	5	1	講義	自由
	感染制御学	5	0.5	講義	自由
	岩手県総合防災訓練から学ぶ	5~6	0.5	講義	自由
	実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由
多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由	

別表1 (第6条関係:薬学部)  
(6) 2017年度入学者用 (6学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考	科目区分	科目名	履修年次	単位数	区分	備考
教養教育科目	生命倫理学	1	1	講義	必修	薬学専門科目	医療薬学1 (消化器・呼吸器・骨・関節疾患の病態と治療)	3	2	講義	必修
	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修		医療薬学2 (内分泌・生殖器・感覚器・皮膚疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	法学	1	1	講義	必修		化学療法学1	3	1	講義	必修
	心理学	1	1	講義	必修		化学療法学2	3	1	講義	必修
	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修		看護体験実習	3	1	実習	必修
	基礎数学	1	1	講義	必修		構造生物学	3	1	講義	必修
	基礎物理学	1	1	講義	必修		医療薬学3 (血液・代謝・免疫・アレルギー・遺伝性疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	物理学実習	1	1	実習	必修		薬理学4 (中枢神経系の薬理と神経科学)	3	2	講義	必修
	情報科学	1	1	講義	必修		免疫生物学2	3	1	講義	必修
	情報科学演習	1	2	演習	必修		応用生体防御学	3	1	講義	必修
	基礎化学	1	1	講義	必修		創剤学2	3	1	講義	必修
	化学実習	1	1	実習	必修		生体制御化学	3	2	講義	必修
	エッセンシャル生物	1	1	講義	必修		チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	薬学生物3 (生命システム)	1	1	講義	必修		調剤学	3	1	講義	必修
	生物学実習	1	1	実習	必修		天然物化学2 (生薬と漢方薬)	3	1	講義	必修
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修		毒性学	3	1	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修		医療薬学4 (循環器・泌尿器疾患の病態と治療)	3	1	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修		放射化学	3	1	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択		保健衛生学	3	1	講義	必修
	スタンダード生物	1	1	講義	選択		薬学英語3	3	1	講義	必修
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択		薬学実習2	3	6	講義	必修
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択		医薬安全性学	3	1	演習	必修
	ベーシック化学	1	1	講義	選択		薬物送達学	3	1	講義	必修
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択		薬物動態解析1	3	1	講義	必修
	ベーシック物理	1	1	講義	選択		薬物動態学2	3	1	講義	必修
	ベーシック数学	1	1	講義	選択		薬物動態解析2	3	1	講義	必修
	文学の世界	1	1	講義	選択		薬理学3 (免疫系・内分泌系・泌尿器系・呼吸器系・感覚器系・生殖系系の薬理)	3	1	講義	必修
	医療と物語	1	1	講義	選択		有機構造解析2	3	1	講義	必修
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択		有機薬化学3 (炭素-ヘテロ原子多重結合の化学)	3	1	講義	必修
	人間関係論	1	1	講義	選択		臨床分析化学	3	1	講義	必修
	解析学入門	1	1	講義	選択		物理化学3 (平衡と反応速度論)	3	1	講義	必修
	医療と法律	1	1	講義	選択		薬事関係法規・制度1	3	1	講義	必修
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択		実践生化学	4	1	講義	必修
	実践英語	1	1	講義	選択		実践医薬化学	4	1	講義	必修
	医療と福祉	1	1	講義	選択		医薬情報科学	4	1	講義	必修
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択		医療統計学	4	1	講義	必修
	哲学の世界	1	1	講義	選択		医療薬学5 (中枢神経・末梢神経・筋疾患の病態と治療)	4	1	講義	必修
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択		医療倫理とヒューマニズム	4	2	講義	必修
	科学英語	1	1	講義	選択		実践衛生薬学	4	1	講義	必修
	英語学	1	1	講義	選択		実務基礎実習	4	5	実習	必修
	医療面接の基礎	2	1	講義	必修		症例・処方解析学	4	2	講義	必修
	基礎統計学	2	1	講義	必修		薬学生の将来 - 多様なキャリアと多職種連携	4	1	講義	必修
	薬学演習1 (濃度と計算)	1	1	講義	必修		卒業研究1	4	4	講義	必修
	基礎有機化学	1	1	講義	必修		天然物化学3	4	1	講義	必修
	薬学基礎数学	1	1	講義	必修		総合薬物治療演習	4	5	演習	必修
薬学演習2 (薬化学基礎演習)	1	1	講義	必修	日本薬局方概論	4	1	講義	必修		
薬学生物1 (機能形態)	1	1	講義	必修	薬学実習3	4	1	実習	必修		
薬学生物2 (生体分子)	1	1	講義	必修	薬事関係法規・制度2	4	1	講義	必修		
分析科学入門	1	1	講義	必修	臨床医学概論	4	2	講義	必修		
薬学入門	1	1	講義	必修	臨床薬学1	4	1	講義	必修		
薬化学入門	1	1	講義	必修	臨床薬学2	4	1	講義	必修		
環境衛生学	2	1	講義	必修	臨床薬学3	4	1	講義	必修		
感染症学	2	1	講義	必修	実務実習	5	20	実習	必修		
機能形態学1	2	1	講義	必修	医薬品情報セミナー	5	1	講義	必修		
機能形態学2	2	1	講義	必修	治療戦略概論	5	1	講義	必修		
細胞生物学	2	1	講義	必修	薬学特論 (衛生・分析・動態)	5	1	講義	必修		
免疫生物学1	2	1	講義	必修	薬学特論 (生物・薬理)	5	2	講義	必修		
食品衛生学	2	1	講義	必修	卒業研究2	5~6	6	実習	必修		
食品栄養学	2	1	講義	必修	地域医療マネジメント概論	6	1	講義	必修		
生化学1 (タンパク質科学)	2	1	講義	必修	臨床薬学総合演習	6	2	講義	必修		
生化学2 (エネルギー代謝)	2	1	講義	必修	総合演習	6	3	演習	必修		
創剤学1	2	1	講義	必修	総合講義	6	5	講義	必修		
天然物化学1	2	1	講義	必修	4学部合同セミナー	6	1	演習	必修		
微生物学	2	1	講義	必修	海外外国語研修 (海外英語演習)	1~6	2	演習	自由		
物理化学1 (分子の性質と電磁波)	2	2	講義	必修	薬学研究入門	1~3	0.5	実習	自由		
物理化学2 (物質のエネルギーと平衡)	2	1	講義	必修	地域医療課題解決演習	1~6	1	演習	自由		
分析化学1	2	1	講義	必修	遺伝学に親しむ	2~3	0.5	実習	自由		
分析化学2	2	1	講義	必修	遺伝子導入技術を学ぶ	2~4	0.5	実習	自由		
薬学英語1	2	1	講義	必修	予防医療入門	2~4	0.5	講義	自由		
薬学英語2	2	1	講義	必修	自分をかえる脳科学	2~4	0.5	講義	自由		
早期臨床体験	2	1	講義	必修	放射科学実習	3	0.5	実習	自由		
基礎総合講義1	2	1	演習	必修	物理化学演習	3	1	演習	自由		
基礎総合講義2	2	1	演習	必修	薬離学	4	0.5	講義	自由		
分析化学計算演習	2	1	演習	必修	アンチ・ドーピング	4~5	0.5	講義	自由		
薬学実習1	2	3	実習	必修	感染制御学	5	0.5	講義	自由		
薬物動態学1	2	1	講義	必修	岩手県総合防災訓練から学ぶ	5~6	0.5	講義	自由		
薬理学1・2 (総論、自律神経系・消化器系・循環器系・代謝系・感覚器系・血液系の薬理)	2	2	講義	必修	実践チーム医療論 (病棟実習)	6	1	実習	自由		
有機構造解析1	2	1	講義	必修	多職種連携地域医療演習	6	1	演習	自由		
有機薬化学1 (炭素-炭素多重結合の化学)	2	1	講義	必修							
有機薬化学2 (炭素-ヘテロ原子単結合の化学)	2	1	講義	必修							
ゲノムサイエンス	2	1	講義	必修							
解剖学	2	1	講義	必修							

別表1 (第6条関係:看護学部)  
(1) 2022年度以降入学者用

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考
関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修
	4学部合同セミナー	4	1	演習	必修
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修
	基礎自然科学	1	1	講義	必修
	情報科学	1	2	講義	必修
	健康運動科学	1	2	講義	必修
	社会福祉	1	1	講義	必修
	心理学	1	1	講義	必修
	医療面接の基礎	1	1	講義	必修
	生命倫理学	1	1	講義	必修
	データサイエンス	1	1	講義	必修
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修
	English Reading & Writing	1	2	講義	必修
	医療英語	2	1	講義	必修
	ベーシック生物	1	1	講義	選択
	スタンダード生物	1	1	講義	選択
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択
	ベーシック化学	1	1	講義	選択
	ベーシック物理	1	1	講義	選択
	解析学入門	1	1	講義	選択
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択
	ベーシック数学	1	1	講義	選択
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択
	文学の世界	1	1	講義	選択
	実践英語	1	1	講義	選択
	医療と福祉	1	1	講義	選択
科学英語	1	1	講義	選択	
医療と物語	1	1	講義	選択	
人間関係論	1	1	講義	選択	
パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
哲学の世界	1	1	講義	選択	
医療と法律	1	1	講義	選択	
看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
	生化学	1	2	講義	必修
	感染免疫学	1	2	講義	必修
	基礎解剖学	1	2	講義	必修
	基礎生理学	1	2	講義	必修
	病理学概論	1	1	講義	必修
	薬理学	2	2	講義	必修
	臨床心理学	2	1	講義	必修
	疾病論Ⅰ(内科系総論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅱ(外科系総論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅲ(各論)	2	2	講義	必修
	疾病論Ⅳ(展開論)	2	2	講義	必修
	臨床病態生理学	3	1	講義	必修
	看護薬理学	4	1	講義	必修
	臨床推論	4	1	講義	必修
医学・医療論	1	1	講義	必修	
公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修	
保健統計学	3	2	講義	必修	
基礎看護学	看護学概論(全人的医療基礎講義含む)	1	2	講義	必修
	看護倫理学	3	1	講義	必修
	生活援助技術論Ⅰ(感染・環境・活動・食事の援助技術)	1	1	演習	必修
	生活援助技術論Ⅱ(清潔・排泄の援助技術)	1	1	演習	必修
	フィジカルアセスメント	1	1	演習	必修
	診療援助技術論	1	2	演習	必修
	看護過程論	1	1	講義	必修
	看護過程演習	2	2	演習	必修
	地域健康生活論	1	1	講義	必修
	地域・在宅看護学概論	2	2	講義	必修
地域・在宅看護学方法論	2	2	講義	必修	
地域・在宅看護学演習	3	1	演習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考	
成人看護学	成人看護学概論	2	1	講義	必修	
	成人慢性期看護方法論	2	2	講義	必修	
	成人急性期看護方法論	2	2	講義	必修	
	成人慢性期看護学演習	2	1	演習	必修	
	成人急性期看護学演習	3	1	演習	必修	
	老年看護学	老年看護学概論	2	1	講義	必修
		老年看護学方法論	2	2	講義	必修
		老年看護学演習	3	1	演習	必修
	小児看護学	小児看護学概論	2	1	講義	必修
		小児看護学方法論	2	2	講義	必修
		小児看護学演習	3	1	演習	必修
	母性看護学	母性看護学概論	2	1	講義	必修
		母性看護学方法論	2	2	講義	必修
		母性看護学演習	3	1	演習	必修
	看護専門科目群	精神看護学概論	2	1	講義	必修
精神看護学方法論		2	2	講義	必修	
精神看護学演習		3	1	演習	必修	
災害ケア論		1	1	講義	必修	
医療安全論		2	1	講義	必修	
緩和ケア論		2	1	講義	必修	
国際看護学		3	1	講義	必修	
看護研究入門		3	1	講義	必修	
看護管理学		4	1	講義	必修	
看護研究		4	1	演習	必修	
臨床実習		基礎看護学実習	1	1	実習	必修
		基礎看護過程実習	2	2	実習	必修
		地域・在宅看護学実習	3~4	3	実習	必修
		成人看護学慢性期・回復期実習	3~4	3	実習	必修
		成人看護学急性期実習	3~4	3	実習	必修
	老年看護学実習	3~4	3	実習	必修	
	小児看護学実習	3~4	2	実習	必修	
	母性看護学実習	3~4	2	実習	必修	
	精神看護学実習	3~4	2	実習	必修	
	統合看護実習	4	2	実習	必修	
発展科目	医療情報論	3	1	講義	選択	
	災害医療論	3	1	講義	選択	
	家族ケア論	3	1	講義	選択	
	スキニングケア論	3	1	講義	選択	
	看護教育論	4	1	講義	選択	
	メンタルヘルスクエア論	4	1	講義	選択	
	看護政策論	4	1	講義	選択	
	地域包括ケア論	4	1	講義	選択	
	対象別健康支援論	3	1	講義	選択	
	公衆衛生看護管理論	3	1	講義	選択	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学方法論	3	1	演習	選択	
	学校・産業保健論	3	1	講義	選択	
	健康危機管理論	3	1	講義	選択	
	地域アセスメント演習	4	1	演習	選択	
	地区・組織支援論	4	1	講義	選択	
	保健医療福祉行政論	4	1	講義	選択	
	公衆衛生看護学実習	4	3	実習	選択	
	日本国憲法	2	2	講義	選択	
	助産学関連科目群	助産学概論	3	1	講義	選択
		母子の心理・社会学	3	1	講義	選択
助産診断技術学(ローリスク)		3	1	講義	選択	
助産診断技術学(ハイリスク)		3	1	講義	選択	
助産診断技術学(新生児)		3	1	講義	選択	
性と生殖の健康科学		3	1	講義	選択	
母子の健康教育論		3	1	講義	選択	
助産診断技術学(分娩期)		4	2	演習	選択	
周産期医学		4	1	講義	選択	
地域母子保健		4	1	講義	選択	
助産管理学		4	1	講義	選択	
地域母子保健実習		4	2	実習	選択	
助産学実習		4	8	実習	選択	
看護研究実践演習		4	1	演習	自由	
地域医療課題解決演習		1~4	1	演習	自由	
臨床微生物・感染症学	3・4	1	講義	自由		
感染制御・感染看護演習	3・4	1	演習	自由		
海外英語演習	1~4	2	演習	自由		

別表1 (第6条関係:看護学部)  
(2) 2021年度以前入学者用(2~4学年)

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考	
関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1	2	演習	必修	
	チーム医療リテラシー	3	1	演習	必修	
	4学部合同セミナー	4	1	演習	必修	
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1	1	講義	必修	
	基礎自然科学	1	1	講義	必修	
	情報科学	1	2	講義	必修	
	健康運動科学	1	2	講義	必修	
	社会福祉	1	1	講義	必修	
	心理学	1	1	講義	必修	
	医療面接の基礎	1	1	講義	必修	
	生命倫理学	1	1	講義	必修	
	English Speaking & Listening	1	1	講義	必修	
	English Reading & Writing	1	3	講義	必修	
	医療英語	2	1	講義	必修	
	ベーシック生物	1	1	講義	選択	
	スタンダード生物	1	1	講義	選択	
	アドバンスト生物	1	1	講義	選択	
	自然・文化人類学	1	1	講義	選択	
	ベーシック化学	1	1	講義	選択	
	ベーシック物理	1	1	講義	選択	
	解析学入門	1	1	講義	選択	
	医療とスポーツ	1	1	講義	選択	
	医療とコミュニケーション	1	1	講義	選択	
	道徳のしくみ	1	1	講義	選択	
	ベーシック数学	1	1	講義	選択	
	アドバンスト化学	1	1	講義	選択	
	文学の世界	1	1	講義	選択	
	実践英語	1	1	講義	選択	
	医療と福祉	1	1	講義	選択	
	科学英語	1	1	講義	選択	
	英語学	1	1	講義	選択	
	医療と物語	1	1	講義	選択	
	人間関係論	1	1	講義	選択	
	パーソナリティ心理学	1	1	講義	選択	
	哲学の世界	1	1	講義	選択	
	医療と法律	1	1	講義	選択	
	看護専門基礎科目	栄養学	1	1	講義	必修
		生化学	1	2	講義	必修
		感染免疫学	1	2	講義	必修
基礎解剖学		1	2	講義	必修	
基礎生理学		1	2	講義	必修	
病理学概論		1	1	講義	必修	
薬理学		2	2	講義	必修	
臨床心理学		2	1	講義	必修	
疾病論Ⅰ		2	2	講義	必修	
疾病論Ⅱ		2	2	講義	必修	
疾病論Ⅲ		2	2	講義	必修	
疾病論Ⅳ		2	2	講義	必修	
専門科目群	医学・医療入門	1	1	講義	必修	
	公衆衛生学・疫学	3	2	講義	必修	
	保健統計学	3	2	講義	必修	
	基礎看護学	看護学概論	1	2	講義	必修
		看護倫理学	3	1	講義	必修
		基礎看護学Ⅰ	1	1	演習	必修
		基礎看護学Ⅱ	1	1	演習	必修
		基礎看護学Ⅲ	1	1	演習	必修
		基礎看護学Ⅳ	1	2	講義	必修
		基礎看護学Ⅴ	2	2	演習	必修
		成人看護学	成人看護学概論	2	1	講義
	成人看護方法論Ⅰ		2	2	講義	必修
成人看護方法論Ⅱ	2		2	講義	必修	
成人看護学演習Ⅰ	2		1	演習	必修	
成人看護学演習Ⅱ	3		1	演習	必修	

科目区分	科目名	履修年次	単位	区分	備考	
看護専門科目群	老年看護学概論	2	1	講義	必修	
	老年看護方法論	2	2	講義	必修	
	老年看護学演習	3	1	演習	必修	
	小児看護学概論	2	1	講義	必修	
	小児看護方法論	2	2	講義	必修	
	小児看護学演習	3	1	演習	必修	
	母性看護学概論	2	1	講義	必修	
	母性看護方法論	2	2	講義	必修	
	母性看護学演習	3	1	演習	必修	
	精神看護学概論	2	1	講義	必修	
	精神看護方法論	2	2	講義	必修	
	精神看護学演習	3	1	演習	必修	
	在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1	1	講義	必修
		地域看護学Ⅱ	3	2	講義	必修
		地域看護学方法論	3	1	講義	必修
		地域看護学展開論	3	1	講義	必修
		在宅看護学概論	2	1	講義	必修
		在宅看護方法論	2	2	講義	必修
		在宅看護学演習	3	1	演習	必修
		災害ケア論	1	1	講義	必修
		国際看護学	2	1	講義	必修
		看護研究入門	2	1	講義	必修
		医療安全論	2	1	講義	必修
		緩和ケア論	2	1	講義	必修
	看護の統合と実践	看護政策論	4	1	講義	必修
		看護管理学	4	1	講義	必修
		看護研究	4	1	演習	必修
		基礎看護学実習Ⅰ	1	1	実習	必修
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2	実習	必修
		成人看護学慢性期・回復期実習	3	3	実習	必修
		成人看護学急性期実習	3	3	実習	必修
		老年看護学実習	3~4	4	実習	必修
		小児看護学実習	3~4	2	実習	必修
		母性看護学実習	3~4	2	実習	必修
		精神看護学実習	3~4	2	実習	必修
		在宅看護学実習	3~4	2	実習	必修
発展科目	統合看護実習	4	2	実習	必修	
	医療情報論	3・4	1	講義	選択	
	先端医療論	3・4	1	講義	選択	
	災害医療論	3・4	1	講義	選択	
	家族ケア論	4	1	講義	選択	
	看護教育論	4	1	講義	選択	
	メンタルヘルスケア論	4	1	講義	選択	
	公衆衛生看護学関係	保健医療福祉行政論	3	1	講義	選択
		公衆衛生看護方法論	3	1	演習	選択
		公衆衛生看護展開論	3	1	演習	選択
		公衆衛生看護管理論Ⅰ	4	1	演習	選択
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	4	1	講義	選択
公衆衛生看護学実習		4	3	実習	選択	
日本国憲法		2	2	講義	選択	
助産看護学関係		助産学概論	3	1	講義	選択
		助産診断技術学Ⅰ	3	1	講義	選択
		助産診断技術学Ⅱ	3	1	講義	選択
		助産診断技術学Ⅲ	3	1	講義	選択
		助産診断技術学Ⅳ	4	2	演習	選択
	助産診断技術学Ⅴ	4	1	講義	選択	
	地域母子保健	4	1	講義	選択	
	助産管理学	4	1	講義	選択	
	助産学実習Ⅰ	4	2	実習	選択	
	助産学実習Ⅱ	4	8	実習	選択	
	看護研究実践演習	4	1	演習	自由	
	自由科目	地域医療課題解決演習	1~4	1	演習	自由
臨床微生物・感染症学		3・4	1	講義	自由	
感染制御・感染看護演習		3・4	1	演習	自由	



別表 2 (第30条関係)

1. 入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。(転部入学含む)

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料	60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金	2,000,000 円	600,000 円	350,000 円	250,000 円
授業料 (年額)	2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	初年度 (年額)	500,000 円	—	125,000 円
	第2学年以降 (年額)	500,000 円	—	195,000 円
施設整備費 (年額)	1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	入学時	3,000,000 円	2,000,000 円	—
	第2学年以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

※教育充実費のうち、平成 21 年度医学部在学中の学生の第 2 学年からの年額は 800,000 円とする。

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

2. 再入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、次のとおりとする。

	医学部	歯学部	薬学部	看護学部
入学検定料	60,000 円	40,000 円	35,000 円	30,000 円
入学金	500,000 円	300,000 円	175,000 円	125,000 円
授業料 (年額)	2,500,000 円	2,500,000 円	1,300,000 円	1,000,000 円
実験実習費	第 1 学年 (年額)	500,000 円	—	125,000 円
	第 2 学年以降 (年額)	500,000 円	—	195,000 円
施設整備費 (年額)	1,000,000 円	1,000,000 円	400,000 円	250,000 円
教育充実費	第 1 学年 (年額)	—	—	—
	第 2 学年以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

3. 転入学 (歯学部に限る。)に係る入学検定料、入学金、授業料、その他学費は、前項と同額とする。

4. 編入学に係る入学検定料、入学金、授業料、その他の学費は、次のとおりとする。

	医学部	歯学部	看護学部	
入学検定料	60,000 円	40,000 円	30,000 円	
入学金	2,000,000 円	600,000 円	250,000 円	
授業料 (年額)	2,500,000 円	2,500,000 円	1,000,000 円	
実験実習費 (年額)	500,000 円	—	150,000 円	
施設整備費 (年額)	1,500,000 円	1,000,000 円	250,000 円	
教育充実費	編入学時	3,000,000 円	800,000 円	—
	次年度以降 (年額)	1,000,000 円	800,000 円	—

※看護学部の保健師養成科目履修者については、別途実習費等として 150,000 円を加える。

※看護学部の助産師養成科目履修者については、別途実習費等として 200,000 円を加える。

5. 留年した者についての授業料、その他学費は、次のとおりとする。

(1) 第1学年において留年した者

留年年度における第1学年の授業料、実験実習費及び施設整備費とする。

(2) 第2学年以降において留年した者

留年年度における留年学年の授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費とする。  
ただし、最終学年で留年した者で、前期末に卒業する者については、授業料、実験実習費、施設整備費及び教育充実費のいずれも半額とする。

備考 第1項から第5項における入学検定料、入学金、授業料、その他学費については、次年度以降変更することがある。

## 岩手医科大学学則変更事項

### 1. 学則変更の事由について

令和4年度を期限とする35名の入学定員数について、令和5年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和5年度に再度の定員増を行わなかった場合の95名から令和5年度に再度の定員増を行った場合の入学定員130名に変更する。

これに併せて、令和10年度の再度の定員増を行った場合の収容定員数についても、令和5年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の570名から再度の定員増を行った場合の605名に変更する。

### 2. 変更点

- 1) 医学部医学科の入学定員数を、95名から130名に変更
- 2) 医学部医学科の収容定員数を、570名から605名に変更

### 3. 学則変更の時期について

令和5年4月1日

## 学則変更（案）様式

学則（新）	学則（旧）																																																
<p>第1条～第35条 [略]</p> <p>第36条 各学部の学生定員は次のとおりとする。            医学部医学科 入学定員 95名                              收容定員 570名</p> <p style="text-align: center;">[略]</p> <p>第37条～第47条 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。（令和元年7月29日一部改正）</p> <p>2 第36条の規定にかかわらず、令和2年度から令和10年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和2年度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学定員</td> <td style="text-align: center;">126人</td> <td style="text-align: center;">126人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">編入学定員</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">收容定員</td> <td style="text-align: center;">766人</td> <td style="text-align: center;">766人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和4年度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和5年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学定員</td> <td style="text-align: center;">126人</td> <td style="text-align: center;">95人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">編入学定員</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">收容定員</td> <td style="text-align: center;">766人</td> <td style="text-align: center;">731人</td> </tr> </table>		令和2年度	令和3年度	入学定員	126人	126人	編入学定員	4人	4人	收容定員	766人	766人		令和4年度	令和5年度	入学定員	126人	95人	編入学定員	4人	0人	收容定員	766人	731人	<p>第1条～第35条 [略]</p> <p>第36条 各学部の学生定員は次のとおりとする。            医学部医学科 入学定員 95名                              收容定員 570名</p> <p style="text-align: center;">[略]</p> <p>第37条～第47条 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則 [略]</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。（令和元年7月29日一部改正）</p> <p>2 第36条の規定にかかわらず、令和2年度から令和10年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和2年度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和3年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学定員</td> <td style="text-align: center;">126人</td> <td style="text-align: center;">126人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">編入学定員</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">收容定員</td> <td style="text-align: center;">766人</td> <td style="text-align: center;">766人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和4年度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">令和5年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入学定員</td> <td style="text-align: center;">126人</td> <td style="text-align: center;">95人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">編入学定員</td> <td style="text-align: center;">4人</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">收容定員</td> <td style="text-align: center;">766人</td> <td style="text-align: center;">731人</td> </tr> </table>		令和2年度	令和3年度	入学定員	126人	126人	編入学定員	4人	4人	收容定員	766人	766人		令和4年度	令和5年度	入学定員	126人	95人	編入学定員	4人	0人	收容定員	766人	731人
	令和2年度	令和3年度																																															
入学定員	126人	126人																																															
編入学定員	4人	4人																																															
收容定員	766人	766人																																															
	令和4年度	令和5年度																																															
入学定員	126人	95人																																															
編入学定員	4人	0人																																															
收容定員	766人	731人																																															
	令和2年度	令和3年度																																															
入学定員	126人	126人																																															
編入学定員	4人	4人																																															
收容定員	766人	766人																																															
	令和4年度	令和5年度																																															
入学定員	126人	95人																																															
編入学定員	4人	0人																																															
收容定員	766人	731人																																															

	令和6年度	令和7年度
入学定員	95人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	699人	667人

	令和8年度	令和9年度
入学定員	95人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	632人	601人

	令和10年度
入学定員	95人
編入学定員	0人
収容定員	570人

#### 附 則

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。（令和4年9月6日一部改正）
- 第36条の規定にかかわらず、令和5年度から令和11年度までの間における医学部医学科の学生定員は、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度
入学定員	130人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	766人	734人

	令和7年度	令和8年度
入学定員	95人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	702人	667人

	令和6年度	令和7年度
入学定員	95人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	699人	667人

	令和8年度	令和9年度
入学定員	95人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	632人	601人

	令和10年度
入学定員	95人
編入学定員	0人
収容定員	570人

	令和9年度	令和10年度
入学定員	95人	95人
編入学定員	0人	0人
収容定員	636人	605人

	令和11年度
入学定員	95人
編入学定員	0人
収容定員	570人

附 則  
この学則は、令和5年4月1日から施行する。(令和4年9月6日一部改正)

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

岩手医科大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 20 年度に「新医師確保総合対策」（10 名）、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」（5 名）に基づき、平成 29 年度までの期限を付した 15 名の臨時定員増をそれぞれ実施した。更に、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」（15 名、うち 5 名は歯学部定員削減枠）、平成 25 年度に「地域の医師確保等の観点からの平成 25 年度医学部入学定員の増加について」（5 名、うち 2 名は歯学部定員削減枠）に基づき、平成 31 年度までの期限を付した 20 名の臨時定員増をそれぞれ実施した。平成 29 年度を期限とする 15 名の入学定員数について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行った。現在は、平成 31 年度を期限とする臨時定員 35 名について、令和 4 年度まで延長した。

加えて、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき 15 名の恒久定員増を実施し、95 名とした。

令和 4 年度を期限とする 35 名の入学定員数について、令和 5 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、入学定員を 130 名に変更する。

これに併せて、令和 10 年度の再度の定員増を行った場合の収容定員数についても、令和 5 年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 570 名から再度の定員増を行った場合の 605 名に変更する。

### イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、創設者三田俊次郎が岩手県における医療の貧困を憂い、多くの良医を育成し地域住民に医療の恵みを与え、人々の命を救うため設立されたものであるが、本設立から 120 年以上を経た今日に至っても、岩手県の医師不足は未だに解消されていない。

本県の医療施設に勤務している医師の数は、人口 10 万人あたり 223.0 人であり、都道府県別順位が 42 位と全国水準の 269.2 名を大きく下回る。（令和 2 年厚生労働省医師・歯科医師・薬剤師調査）

現在、岩手県においては、地域医療に従事する医師不足が慢性化、深刻化しており、特に県北、沿岸地区では医療は危機的な状況にある。

本学は東北唯一の私立医科大学として、地域医療に貢献する医師の養成に努めてきたが、前述のような厳しい医師不足の状況と医師確保に係る地域の切実な要望を受け、平成 18 年 8 月に発出された「新医師確保総合対策」

に基づき、平成 20 年度から医学部入学定員 10 名の暫定定員増（入学定員 90 名）が認可され、その後、平成 19 年 8 月の「緊急医師確保対策」に基づく 5 名暫定定員増（入学定員 95 名）、平成 20 年 8 月「経済財政改革の基本方針 2008（骨太の方針）」の「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進について（通知）」に基づき 15 名の定員増（入学定員 110 名）、平成 21 年 7 月「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」に基づき 15 名の定員増（入学定員 125 名）、平成 24 年 10 月「地域の医師確保等の観点からの平成 25 年度医学部入学定員の増加について」に基づき 5 名の定員増（入学定員 123 名、編入学定員 7 名）、平成 29 年度を期限とした定員 15 名を「地域の医師確保等の観点からの平成 30 年度医学部入学定員の増加について」に基づき 15 名の定員増（入学定員 123 名、編入学定員 7 名）、さらに、平成 31 年度を期限とした定員については、令和 3 年 8 月 16 日「地域の医師確保等の観点からの令和 4 年度医学部入学定員の増加について（通知）」に基づき、35 名の定員増を行ってきたところである。また、平成 23 年 3 月に発生した「東日本大震災津波」は岩手県にも甚大な被害をもたらし、特に沿岸部の県立病院や診療所は壊滅的な損害を受けた。本学は発災後直ちに岩手県と連携し、被災地への医療支援の拠点となり、様々な救命活動や医療支援を行ってきたが、震災後 10 年以上が経過した現在でも沿岸部の医療機能は完全に回復していない状況である。今般、令和 4 年 8 月 10 日「地域の医師確保等の観点からの令和 5 年度医学部入学定員の増加について（通知）」に基づき、東日本大震災津波で罹災し、医療機関だけでなく医療従事者への深刻な影響を受けた岩手県の医師不足を解消し、被災地の医療機能復活のため、学是でもある地域医療への貢献を果たすべく、医学部学生の入学定員増に係る学則変更の認可を願い出るものである。

#### ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織、施設・設備の変更は行わない。しかしながら、これまで構築した教育プログラムに加え、以下のとおりさらなる充実化を図っている。

##### (ア) 教育課程

本学のカリキュラムは、建学の精神である「医療人たる前に、誠の人間たれ」を基に、地域医療や患者本位の全人的医療を実現できる医師の養成プログラムを重視し、以下のとおり実施している他、さらなる充実化を図るためカリキュラムを改編してきた。

##### ①看護・介護体験実習 第 1 学年

本学附属病院他 1 病院と県内 22 ヲ所の介護施設において、それぞれ 4 日間にわたりスタッフの一員として直接患者様に接する中で、地域コミュニ



ティに根ざした医療を担うプロフェッショナルを目指し、コミュニケーション能力やチーム医療の重要性を学ぶ。

②地域保健介護福祉見学研修 第1学年

県内全域の医療施設や行政機関を訪問し、見学・取材を通して「地域医療が抱えている問題と行政機関の対応」や「医師不足の現状と対策」等を総合的に学習する。見学に先立ち、地域医療の現場にいる県立病院長による「地域医療の実態」に関する講義を受け、見学研修の成果の向上を図っている。見学研修後は、班ごとに研修成果の発表を行っているが、年々調査・取材内容が精緻かつ高度になっており、教員が感銘を受ける場面も多い。

③地域医療体験実習 第1学年

学生を2～5名のグループに分け、過疎地、被災地を含めた県内外の39医療機関で2日間の研修を行う。地域の医療機関で働く医師の活動を自ら体験することを通して医師の果たすべき役割を習得する。

④地域医療研修 第3学年

学生を1～5名のグループに分け、県内外の37医療機関で5日間の研修を行う。1学年で体験した地域医療の実態体験をさらに発展させ、実際の医療現場にも立ち会い、地域の患者様とのコミュニケーションを図る。

⑤地域医療臨床実習 第5学年

県内外の医療機関において、3年次に学んだ地域医療を担当する医師の役割とその重要性を再確認し見識を深めるとともに、実際に4週間と長期間において各医療圏の地域医療の診療に参加することで、専門に分化した医療のみにとらわれない総合性を重視したプライマリーケアの重要性を認識する。

(イ) 教育方法及び履修指導方法

本学では、時代の要請に応える医学教育を行い、地域医療への関心を高める教育方法として、第1、3、6学年で医・歯・薬・看護学部合同の多職種連携教育を実施している。これは、多職種が連携し、医療の質を向上させることを学び合う機会とし、チーム医療の意義を早期に習得することを目的としており、地域・へき地医療を担う医師を目指す者にとって重要なカリキュラムとして位置づけている。また、地方自治体との連携により、職種間の協働作業を通じて地域医療が抱える問題の解決を行っている。

①多職種連携のためのアカデミックリテラシー 第1学年

他学部混合グループに分け、医療分野に関するテーマを基にワークショップを実施し、専門職に求められる能力の養成および様々な医療専門職の役割や責任について理解を深める。

②チーム医療リテラシー 第3学年

他学部混合グループに分け、緩和ケア等の患者の健康段階によるサポート

体制についてワークショップを実施し、チーム医療に必要なコミュニケーションのあり方や方法を理解する。

#### ③4 学部合同セミナー 第6学年

他学部混合グループに分け、課題となる症例を提示し、PBL形式により診断、病態生理および治療方針についてそれぞれの職種の立場からの意見交換を行い、患者への治療方針を共同でまとめる。このことにより、自職種役割の再認識と多職種尊重の姿勢を身に付け、チーム医療に必要なコミュニケーション能力を確立する。学生のアンケート結果は、学修効果が非常に高い結果となり、今後も継続していく予定である。

#### ④地域医療課題解決演習 全学年

本学が拠点とする岩手県矢巾町と連携し、矢巾地区の地域医療課題について学生のみならず地域との協同作業により、当該医療課題に対する解決策や政策面での提案を行うほか、医療人である自らの役目を自覚し、チームでの協働に必要な協調性を身に付ける。

#### (ウ) 教員組織

本学医学部の教員数は、大学設置基準に定める基準を十分に満たしているが、今後も教員のさらなる充足に向け努力する。

カリキュラムに組み込まれている地域医療実習・研修では、地域医療の現場で活躍するベテランの医師を臨床教授・臨床准教授・臨床講師として委嘱し、より実践的な教育を行っている。

#### (エ) 施設・設備

本学では、これまでの医学部定員増にも十分に対応できる講義室・実習室等の充実した教育環境とバリアフリーに配慮したキャンパス施設が整備されている。2019年までは矢巾キャンパスでは医学部1～4学年までが、5～6学年が附属病院のある内丸キャンパスにおいて修学していたが、矢巾キャンパスに隣接する敷地に附属病院が移転したことにより、すべての教員が学生教育に注視できる環境が整った。この新病院は、現在の学生定員数にも十分に対応可能であり、敷地内には新たに講義室を2室、グループ学習が可能な部屋を54室設置し、うち25室は医局と隣接したレイアウトとなっており、学生の教育環境を十分に整備できた。さらに同敷地内にはドクターヘリポートを設置しており、岩手県内のみならず北東北の救急医療の現場を体験可能とするなど、臨床実習・高次臨床実習の充実化を図り、地域医療の医師養成をさらに促進する。

令和5年度  
医学部入学定員増員計画

4岩医大医第17号  
令和4年8月23日

文部科学省高等教育局長 殿

岩手医科大学  
理事長 小川 彰

「地域の医師確保等の観点からの令和5年度医学部入学定員の増加について（令和4年8月10日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	総括課長 水戸 信博
	TEL	019-651-5111 内線5007
	FAX	019-698-1826
	E-mail	nobuhiro.mito@j.iwate-med.ac.jp

大学名	国公立
岩手医科大学	私立

1. 現在(令和4年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
126	0	4	766

(収容定員計算用)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(ア)入学定員	123	123	123	126	126	126	747
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	7	4	4	4	0	0	19
計	130	127	127	130	126	126	766

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和5年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	0	0	570

(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	95	95	95	95	95	95	570
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和5年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
130	0	0	605

(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	130	95	95	95	95	95	605
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	130	95	95	95	95	95	605
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 **35**

(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	35
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	
計	35

## 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数

### (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	岩手県	35
大学所在地以外の都道府県		
計		35

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

### (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R3とR4の貸与者数のうち多い方の数
岩手県	28	28	28	28	28
秋田県	0	2	0	2	2
					0
					0
					0
計	28	30	28	30	30

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和5年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和3年度に実施した地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
学校推薦型選抜地域枠A【岩手県出身者枠】	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	15	15	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。	岩手県から「岩手県医師修学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1または2に該当し、3以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和3年3月に卒業した者、または令和4年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和3年3月に卒業した者、または令和4年3月卒業見込みの者で、本人または保護者等が3年前(平成30年12月1日以前)から岩手県内に在住している者(本人または保護者の主たる住所地及びその在住期間を確認するため住民票添付のこと) 3 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ医師となる者	H21以前	
学校推薦型選抜地域枠B【東北出身者枠】	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	8	8	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。	岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から3のいずれかに該当し、4以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和3年3月に卒業した者、または令和4年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和3年3月に卒業した者、または令和4年3月卒業見込みの者で、本人または保護者等が3年前(平成30年12月1日以前)から岩手県内に在住している者(本人または保護者の主たる住所地及びその在住期間を確認するため住民票添付のこと) 3 青森県・秋田県・宮城県・山形県・福島県の高等学校、中等教育学校を令	R1	

学校推薦型選抜秋田県地域枠【秋田県出身者枠】	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	2	0	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および秋田県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。	次の要件をすべて満たしている者 1 秋田県内の高等学校を令和3年3月に卒業した者、または令和4年3月卒業見込みの者 2 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持った生徒で、校長が推薦する者 3 合格した場合は必ず入学し、医師免許取得後は、秋田県の地域医療のために、9年間(臨床研修期間2年含む)勤務し、うち4年間は、知事が指定する医師不足地域の公的医療機関等で従事することを確約できる者 4 入学後は、秋田県医師修学資金を6年間受給し、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムにしたがって義務履行することを確約できる者	R2	
一般選抜地域枠C【全国枠】	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	一次試験では、試験科目合計(350点満点)の成績上位順に一次試験通過者を選抜する。二次試験では、一次試験成績に面接(50点満点)を加えた成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。	岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の賞与候補生の決定を受けている者で、次の1から7のいずれかに該当し、8および9の要件を満たしている者 1 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および令和4年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和4年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および令和4年3月までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者 4 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および令和4年3月31日までに修了見込みの者 5 文部科学大臣の指定した者 6 高等学校卒業程度認定試験規則に	R1	
合計			30	28				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和4年度に実施する地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。  
また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
----	------	------	------	----------	----------	------	----

名称	入試科目	選抜科目	うち臨時定員分	選抜科目(点)	試験科目(点)	試験科目(点)	閉校年度	備考
学校推薦型選抜地域枠A【岩手県出身者枠】	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	15	15	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。	岩手県から「岩手県医師修学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1または2に該当し、3以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者で、本人または保護者等が3年前(令和元年12月1日以前)から岩手県内に在住している者(本人または保護者の主たる住所地及びその在住期間を確認するため住民票添付のこと) 3 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持った生徒 岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から3のいずれかに該当し、4以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者で、本人または保護者等が3年前(令和元年12月1日以前)から岩手県内に在住している者(本人または保護者の主たる住所地及びその在住期間を確認するため住民票添付のこと) 3 青森県・秋田県・宮城県・山形県・福島県の高等学校、中等教育学校を令和4年3月に卒業した者、または令和5	H21以前	
学校推薦型選抜地域枠B【東北出身者枠】	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	8	8	試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。	岩手県から「岩手県医師修学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から3のいずれかに該当し、4以下の要件をすべて満たしている者 1 岩手県内の高等学校、中等教育学校を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者 2 岩手県外の高等学校、中等教育学校(文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む)を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者で、本人または保護者等が3年前(令和元年12月1日以前)から岩手県内に在住している者(本人または保護者の主たる住所地及びその在住期間を確認するため住民票添付のこと) 3 青森県・秋田県・宮城県・山形県・福島県の高等学校、中等教育学校を令和4年3月に卒業した者、または令和5	R1	



<p>学校推薦型選抜秋田県地域枠【秋田県出身者枠】</p>	<p>(i) 学校推薦型選抜</p>	<p>別枠(先行型)</p>	<p>2</p>	<p>0</p>	<p>試験科目合計(450点満点)の成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および秋田県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。</p>	<p>次の要件をすべて満たしている者  1 秋田県内の高等学校を令和4年3月に卒業した者、または令和5年3月卒業見込みの者  2 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ医師となる適性と明確な目的意識を持った生徒で、校長が推薦する者  3 合格した場合は必ず入学し、医師免許取得後は、秋田県の地域医療のために、9年間(臨床研修期間2年含む)勤務し、うち4年間は、知事が指定する医師不足地域の公的医療機関等で従事することを確約できる者  4 入学後は、秋田県医師修学資金を6年間受給し、医師免許取得後は、秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って義務履行することを確約できる者</p>	<p>R2</p>	
<p>一般選抜地域枠C【全国枠】</p>	<p>(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)</p>	<p>別枠(区別型)</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>一次試験では、試験科目合計(350点満点)の成績上位順に一次試験通過者を選抜する。二次試験では、一次試験成績に面接(50点満点)を加えた成績上位順に合格者を選抜する。但し、面接において大学および岩手県が設定する基準に満たない場合は、成績順によらず不合格と判定する。</p>	<p>岩手県医療局から「医療局医師奨学資金」の貸与候補生の決定を受けている者で、次の1から7のいずれかに該当し、8および9の要件を満たしている者  1 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および令和5年3月卒業見込みの者  2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和5年3月修了見込みの者  3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および令和5年3月までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者  4 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および令和5年3月31日までに修了見込みの者  5 文部科学大臣の指定した者  6 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合</p>	<p>R1</p>	

一般選抜地域 枠D【全国枠・ 診療科指定 枠】	(iii)一般選抜地 域枠(前期・後 期)	別枠(区別型)	7	7	一次試験では、試験科目合計 (350点満点)の成績上位順に 一次試験通過者を選抜する。二 次試験では、一次試験成績に 面接(50点満点)を加えた成績 上位順に合格者を選抜する。但 し、面接において大学および岩 手県が設定する基準に満たな い場合は、成績順によらず不 合格と判定する。	岩手県国民健康保険団体連合会から 「岩手県市町村医師養成修学資金」の 貸与候補生の決定を受けている者で、 次の1から7のいずれかに該当し、8お よび9の要件を満たしている者 1 高等学校または中等教育学校を卒 業した者、および令和5年3月卒業見込 みの者 2 通常の課程による12年の学校教育 を修了した者、および令和5年3月修了 見込みの者 3 外国において学校教育における12 年の課程を修了した者、および令和5 年3月までに修了見込みの者、または これらに準ずる者 4 文部科学大臣が高等学校の課程に 相当する課程を有するものとして認定 した在外教育施設の当該課程を修了 した者、および令和5年3月31日までに 修了見込みの者 5 文部科学大臣の指定した者 6 高等学校卒業程度認定試験規則に	R4
合計			37	35			

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和5年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、「地域医療体験学習」および「地域保健介護福祉研修」の実習を必修化し、早期から地域医療の現場を体験し理解を深めている。3年次には「地域医療見学研修」を必修化し、地域内で医師が果たすべく役割を学んでいる。5年次には、「地域医療臨床実習」を必修化し、各医療圏において多職種連携医療チームの一員として、地域包括ケアを経験している。

(参考:記入例)

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成20年度から地域枠による増員を開始し、早期からの病院実習の導入や、長期間の地域医療臨床実習などの取組を行ってきた。令和4年度までに358名の地域枠学生を確保し、そのうち181名が、県内の公的病院や大学病院等で地域医療に貢献している。

(参考:記入例)

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1学年	地域医療体験実	全員	必修	必修	実習	0.5	H24
1学年	地域保健介護福祉研修	全員	必修	必修	実習	0.5	H21以前
3学年	地域医療研修	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
5学年	地域医療臨床実	全員	必修	必修	実習	4	H30
1～6学年	地域医療課題解決演習	全員	選択	選択	実習	1	H30

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

## 2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。  
 なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例:200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
岩手県	15	新入生	4,400,000(年額) 4,100,000(入学一時金)	30,500,000	キャリア形成プログラムに従って、17年以内に県内研修病院での臨床研修(2年間)を含む11年間、県内の公的病院等に勤務した場合	④その他(備考欄に記入)	○	×		県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施
岩手県	8	新入生	300,000	21,600,000	キャリア形成プログラムに従って、原則、15年以内に県内研修病院での臨床研修(2年間)を含む9年間岩手県立病院等に勤務した場合	④その他(備考欄に記入)	○	×		県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施 【推薦入試】
岩手県	5	新入生	300,000	21,600,000	キャリア形成プログラムに従って、原則、15年以内に県内研修病院での臨床研修(2年間)を含む9年間岩手県立病院等に勤務した場合	④その他(備考欄に記入)	○	×		県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施 【一般入試】
岩手県	7	新入生	200,000	7,600,000	キャリア形成プログラムに従って、原則、15年以内に県内研修病院での臨床研修(2年間)を含む9年間岩手県立病院等に勤務した場合	④その他(備考欄に記入)	○	○	総合診療科・産婦人科・小児科	県による貸与候補生の選考・決定の後、大学と県による合同面接を実施 【一般入試】

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。  
 ※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例:在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
-------	---------------	------

いわて医学奨学生サマーセミナー	地域医療に関する講演、キャリアパス形成に資するワークショップ等	H29
奨学生向け説明・相談会	奨学金制度及びキャリア形成プログラムの説明、学生からの相談対応	H30

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

### 3. その他

**1～2に記入したもの以外で、**その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

本学では地域医療を担う人材を養成することを目的とした大学であり、開講している実習等は地域医療に対する理解を深めることを目的とした内容としており、今後同様にカリキュラムを編成する予定である。

## 学生確保の見通し等を記載した書類（医学部）

### （1） 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生確保の見通し

##### ア. 定員充足の見込み

この度の医学部定員の変更は、2008（平成20）年度の「新医師確保総合対策」による10名、2009（平成21）年度の「緊急医師確保対策」による5名、2010（平成22）年度以降の「地域の医師確保の観点からの定員増」による13名の定員増の延長及び、2023（令和5）年度の「地域の医師確保、診療科偏在対策」による7名の定員増、計35名の増員によるものである。医師不足が深刻な地域や診療科の医師確保のため、本学が地域医療に貢献できる医師を養成し、定着を図るために認められた増員であり、これらの目的を継続して達成するため、35名の増員を維持することとした。また、この定員については、過去5年間の入学者選抜実施状況（資料1、2）から充足する見込みである。

##### イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータ

医学部入学者選抜における地域枠関連の入試実績について、平成30～31年度は募集人員15名に対し、平均で志願者38.0人、倍率2.5倍であった。また、別枠方式として、学校推薦型選抜及び一般選抜で実施した令和2年度以降は、募集人員28名に対し、平均で志願者96.0人、倍率3.4倍であった。過去5年間の志願者数、倍率の推移を踏まえると、地域枠の需要は今後も維持される見込みである（資料1）。また、一般選抜について、過去5年間の倍率は高倍率で推移していることから、同選抜において募集する、2023（令和5）年度の「地域の医師確保、診療科偏在対策」による7名についても、志願者及び入学者を安定的に確保する見通しである（資料2）。

#### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学の入学者選抜は、医学部アドミッション・ポリシーに基づき、多様な人材を広く募るため、出願資格や選抜方法の異なる複数の入試区分を設定している。また、入学者選抜に関する情報は、受験生に向けて学生募集要項や大学ホームページに掲載し、周知を図っている。そして、進学相談会や高校訪問、オープンキャンパスを実施し、本学の教職員が

受験生に対し、入試制度や大学の概要について直接、説明を行うなど、積極的な情報発信を行うことで、学生の確保に努めている。

## (2) 人材需要の動向等社会情勢の要請

### ① 人材養成に関する目的とその他の教育上の目的（概要）

本学は「医療人たる前に、誠の人間たれ」という建学の精神のもと、地域医療に貢献する医療人育成を使命として設立された。医学・歯学・薬学・看護学の4学部をもつ医療総合大学としての特色を活かし、各学部間の緊密な連携のもとに人類の健康・福祉の向上に貢献することを目指している。医学部ではこれを受け、教育・診療・研究において主導的役割を担う豊かな人間性を備えた人材を養成すること、また、人としての教養を高め、医師としての十分な知識と技能を修得させ、発展を続ける医学に対応する生涯学習のための自己啓発能力を涵養することを目的としている。

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学は開学以来、医師・歯科医師・薬剤師・看護師と多くの医療従事者を輩出し、岩手県をはじめ近隣県の地域医療を支え貢献してきた。

しかしながら、岩手県の人口10万人あたりの医師数は223.0人（全国水準269.2人）、医療施設の従事者数で見れば207.3人（全国水準256.6人）と、いずれも全国順位で第42位であり、岩手県は慢性的な医師不足が問題となっている（資料3）。さらには、東日本大震災津波により、被災沿岸部の医師を始めとする医療従事者不足は、さらに深刻な状況となっている。

このことから、本学に対する医師養成の社会的需要は非常に高く、これに応えるべく、本学には将来的にも多くの優秀な医師を輩出する責務があると考えられる。



岩手医科大学医学部入学者選抜(地域枠)実施状況  
(平成30年度～令和4年度)

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
募集人員	15	15	28	28	28
志願者数	33	43	69	102	117
受験者数	33	43	67	102	117
合格者数	15	15	31	30	29
入学者数	15	15	28	28	28
倍率 (志願者数/入学者数)	2.2	2.9	2.5	3.6	4.2
備考 (募集人員内訳)	地域枠15名	地域枠15名	地域枠A15名 地域枠B8名 地域枠C5名	地域枠A15名 地域枠B8名 地域枠C5名	地域枠A15名 地域枠B8名 地域枠C5名

岩手医科大学医学部入学者選抜(一般選抜)実施状況  
(平成30年度～令和4年度)

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
募集人員	90	90	80	78	73
志願者数	3350	2951	2406	2155	2128
受験者数	3253	2834	2317	2100	2081
合格者数	186	249	216	224	232
入学者数	90	90	80	78	73
倍率 (志願者数/入学者数)	37.2	32.8	30.1	27.6	29.2

統計表 15 人口10万対医師・歯科医師・薬剤師数，従業地による  
都道府県－指定都市・特別区・中核市（再掲）、業務の種別、性別（2－1）

(単位:人)

令和2(2020)年12月31日現在

	医 師				歯 科 医 師				薬 剤 師			
	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 薬局・医療施設 の従事者	男	女
全 国	269.2	256.6	198.1	58.5	85.2	82.5	62.1	20.4	255.2	198.6	69.1	129.6
北 海 道	262.8	251.3	209.4	41.9	84.6	81.3	67.0	14.3	225.9	190.3	94.8	95.5
青 森	224.0	212.5	172.5	40.1	59.4	56.5	43.9	12.6	189.4	161.2	77.5	83.8
岩 手	223.0	207.3	173.2	34.0	83.9	78.7	59.1	19.7	209.5	178.3	79.7	98.6
宮 城	258.5	246.3	197.6	48.7	82.4	77.5	56.6	20.9	239.0	194.3	77.5	116.9
秋 田	254.7	242.6	193.7	48.9	64.5	62.6	51.5	11.2	215.3	184.9	81.1	103.8
山 形	244.2	229.2	188.1	41.1	63.5	62.0	47.8	14.2	199.3	167.8	81.7	86.0
福 島	215.9	205.7	171.4	34.3	76.6	73.7	58.9	14.8	206.9	171.0	78.6	92.4
茨 城	203.6	193.8	149.8	43.9	69.0	68.2	51.9	16.3	233.8	181.4	69.3	112.1
栃 木	246.9	236.9	184.8	52.1	71.7	70.8	54.0	16.8	225.0	181.8	73.6	108.2
群 馬	244.2	233.8	185.9	47.9	73.3	72.5	55.2	17.3	213.0	175.9	70.1	105.7
埼 玉	185.2	177.8	137.6	40.1	75.9	74.4	55.7	18.7	222.9	185.0	63.5	121.5
千 葉	213.2	205.8	159.8	46.0	83.1	81.5	60.1	21.4	235.9	193.4	59.6	133.8
東 京	342.2	320.9	221.2	99.7	122.8	118.4	80.9	37.6	376.2	234.9	64.1	170.8
神 奈 川	231.4	223.0	164.5	58.5	82.3	80.1	58.4	21.6	258.4	213.5	59.2	154.2
新 潟	218.2	204.3	166.7	37.6	94.3	88.5	64.0	24.5	205.1	174.3	75.1	99.2
富 山	273.7	261.5	206.3	55.2	62.8	60.6	46.5	14.1	275.9	175.2	68.5	106.7
石 川	307.8	291.6	234.3	57.3	65.3	62.4	50.2	12.2	249.8	190.7	71.2	119.6
福 井	270.5	257.9	206.8	51.1	60.6	60.1	46.8	13.3	194.2	157.0	65.9	91.2
山 梨	259.4	250.1	199.1	51.0	73.1	72.1	55.7	16.4	228.6	190.9	81.2	109.6
長 野	254.7	243.8	196.1	47.7	81.0	77.3	60.3	17.0	224.8	189.2	77.9	111.2
岐 阜	231.5	224.5	181.2	43.3	87.7	84.8	67.0	17.8	205.2	171.4	77.2	94.3
静 岡	227.7	219.4	177.7	41.7	65.4	64.4	51.1	13.3	233.5	183.7	79.6	104.0
愛 知	236.6	224.4	171.6	52.8	81.7	79.5	62.2	17.3	212.2	174.8	68.0	106.8
三 重	242.8	231.6	188.8	42.8	66.7	65.6	53.0	12.5	200.5	171.7	73.3	98.4
滋 賀	247.3	236.3	185.5	50.8	59.3	58.2	45.2	13.0	237.1	186.6	65.0	121.6
京 都	355.1	332.6	253.4	79.3	76.5	75.1	58.1	17.0	264.8	192.4	59.7	132.7
大 阪	299.1	285.7	218.1	67.6	92.6	89.8	68.3	21.5	308.9	216.0	59.7	156.3
兵 庫	276.9	266.1	206.2	59.9	75.8	74.1	58.9	15.2	286.6	233.9	55.9	178.0
奈 良	287.7	277.1	220.0	57.1	72.3	70.9	56.9	14.0	248.2	198.4	52.9	145.5
和 歌 山	318.8	307.8	246.2	61.7	78.8	77.3	63.2	14.1	260.1	199.4	66.4	133.0
鳥 取	338.1	314.8	251.5	63.2	66.7	62.9	49.9	13.0	222.1	189.0	72.8	116.2
島 根	314.1	297.1	232.6	64.5	60.9	58.1	45.3	12.8	212.9	182.2	90.7	91.5
岡 山	333.1	320.1	249.2	70.9	95.7	93.4	67.3	26.2	226.7	190.3	66.2	124.1
広 島	278.8	267.1	209.9	57.2	93.3	90.9	66.4	24.4	261.9	221.2	69.8	151.5
山 口	274.4	260.1	213.9	46.2	73.8	72.2	58.3	13.9	260.6	213.6	83.4	130.2
徳 島	356.7	338.4	254.3	84.1	118.0	112.6	79.4	33.2	364.0	238.6	67.7	170.9
香 川	303.7	290.0	225.9	64.1	77.8	75.9	57.6	18.3	264.1	216.4	78.2	138.2
愛 媛	288.2	276.7	224.3	52.4	70.6	69.1	56.4	12.7	226.5	190.3	73.0	117.2
高 知	333.3	322.0	250.3	71.7	71.9	70.3	56.4	13.9	258.4	215.0	74.9	140.1
福 岡	326.8	309.9	244.1	65.8	110.5	104.1	76.1	28.0	247.6	211.3	75.3	136.0
佐 賀	301.3	290.3	224.9	65.4	76.0	74.4	60.3	14.2	240.6	204.7	91.2	113.5
長 崎	335.2	319.1	254.8	64.2	91.7	87.7	68.0	19.7	225.1	190.4	81.5	108.9
熊 本	311.5	297.0	239.8	57.2	79.2	76.6	59.3	17.3	232.2	192.9	75.8	117.1
大 分	299.9	287.1	231.1	56.1	65.8	64.2	53.3	10.9	206.2	181.6	75.5	106.2
宮 崎	269.2	255.5	206.0	49.6	68.3	66.3	53.3	13.0	212.4	176.5	76.9	99.6
鹿 児 島	293.0	283.6	230.3	53.3	85.1	82.2	63.7	18.6	205.6	181.2	80.3	100.9
沖 縄	264.9	257.2	199.6	57.6	60.3	58.9	44.8	14.1	165.7	148.3	58.4	89.9

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ソブエ ケンジ 祖父江 憲治 <平成28年4月>		医学博士		岩手医科大学 学長 (平成28年4月)

## 審査意見への対応を記載した書類（11月）

（目次） 薬学部 薬学科

1. 専任教員の教授数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。（是正事項）・・・ 1

(是正事項) 薬学部 薬学科

1. 専任教員の教授数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

専任教員の教授数を充足するため、2件の教授選考委員会を設置し、教授会(10月26日開催)及び理事会(10月31日開催)の議を経て、本年11月1日付で2名の教授を任用した。これにより、大学設置基準に定める専任教員の教授数を適切に改めた。

(新旧対照表) 基本計画書 (2ページ)

新	旧
教授15人	教授13人